

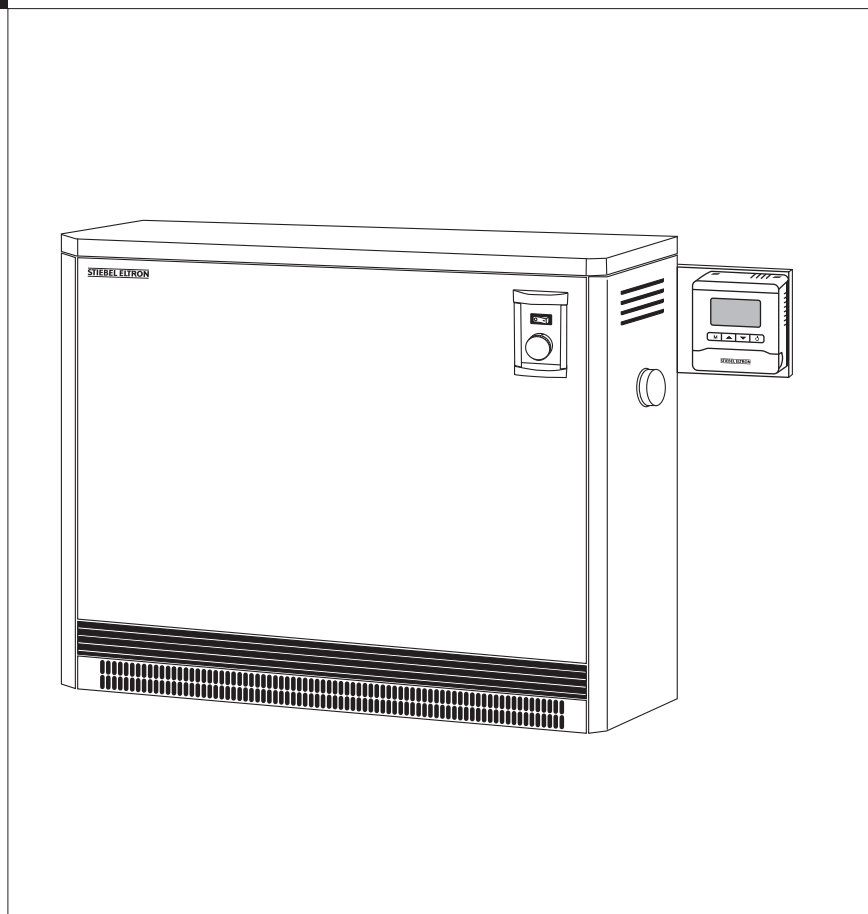
# 蓄熱式電気暖房器

# 取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 名…… ETS-TMJシリーズ

- ETS-200TMJ
- ETS-300TMJ
- ETS-400TMJ
- ETS-500TMJ
- ETS-600TMJ
- ETS-700TMJ
- ETS-200TMJ/T
- ETS-300TMJ/T
- ETS-400TMJ/T
- ETS-500TMJ/T
- ETS-600TMJ/T
- ETS-700TMJ/T
- ETS-200TMJ/C
- ETS-300TMJ/C
- ETS-400TMJ/C
- ETS-500TMJ/C
- ETS-600TMJ/C
- ETS-700TMJ/C



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前に P. 1 「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

## [目次]

### 取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 各部のなまえと機器の特長	3
2-1. 各部のなまえ	3
2-2. 機器の特長	3
3. タイマーの設定のしかた	4
3-1. 事前準備	4
3-2. 現在時刻の設定	5
3-3. 通電時間の設定	6
4. 使いかた	8
4-1. 事前準備	8
4-2. 蓄熱量の設定	8
4-3. ファンの動かしかた	9
4-4. もう少しお部屋を 暖めたい場合	10
4-5. 外出する場合	11
4-6. 暖房を止めたい場合	11
5. 日常の点検とお手入れ	12
5-1. 機器のお手入れについて	12
5-2. タイマーの電池交換	13
6. 故障かな?と思ったら	14
7. 点検および修理について	15
8. 仕様	16

### 取付説明書

1. 安全上のご注意	18
2. 各部のなまえ	21
3. 部品の確認	21
4. 仕様	22
5. 機器の設置	23
5-1. 事前準備	23
5-2. 付属部品の確認と 背面固定金具の固定	23
5-3. 電源ケーブルの接続	26
5-4. 機器の固定	27
5-5. 蓄熱体の組み込み	29
6. 機器外装部品の設置	32
6-1. タイマーの設置	32
6-2. 外装パネルの固定	33
7. 試運転	35
保証書	37




# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--


■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。


 <b>禁止マーク</b> してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b> 注意することを示します。
 <b>指示マーク</b> 必ず行なうことを示します。


## 警告


### 禁止


 絶対に改造はしないでください。


 機器に水を掛けないでください。機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。


 濡れた手で機器を操作しないでください。

 機器の運転中、運転後は、機器表面や吹出グリルが熱くなっていますので触らないでください。また、お子様が近寄らないようにしてください。

 機器の近くで、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物を保管したり、使用したりしないでください。

 ガス類等の可燃性物質が入った容器を機器の上に置いたり、接触させたりしないでください。




 機器に直接衣類等を置いて乾かしたりしないでください。

 機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物を置かないでください。  
(壁紙や棚、カーテン等を保証する距離ではありません。)

	前面	上面	左面	右面	背面	可燃物
離隔距離	500mm以上	100mm以上	70mm以上 ※	150mm以上	65mm	150mm以上




※他の機器と150mm以上離隔をとり、隣接させないでください。

## 指示









-  壁固定金具が正しく取付けられ、機器がしっかりと壁面と床面に固定されていることを確かめてください。
-  震災等で万が一転倒した場合は、下記の各項目を実施の上、日本スティーベル（株）に電話でご連絡ください。
  - ①機器の専用ブレーカを「切」(OFF) にしてください。
  - ②建物が揺れている間や、機器が傾いている間は機器に近づかないでください。
  - ③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。
  - ④機器が熱い状態で転倒した場合は、機器の周りから床等に水を流してください。
-  お子様や身体に障害がある人が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

## 注意

### 禁止

-  機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
-  機器のファンモーターが故障し動いていない場合は、そのまま使用しないでください。
-  機器の隙間から、内部に物を入れないでください。

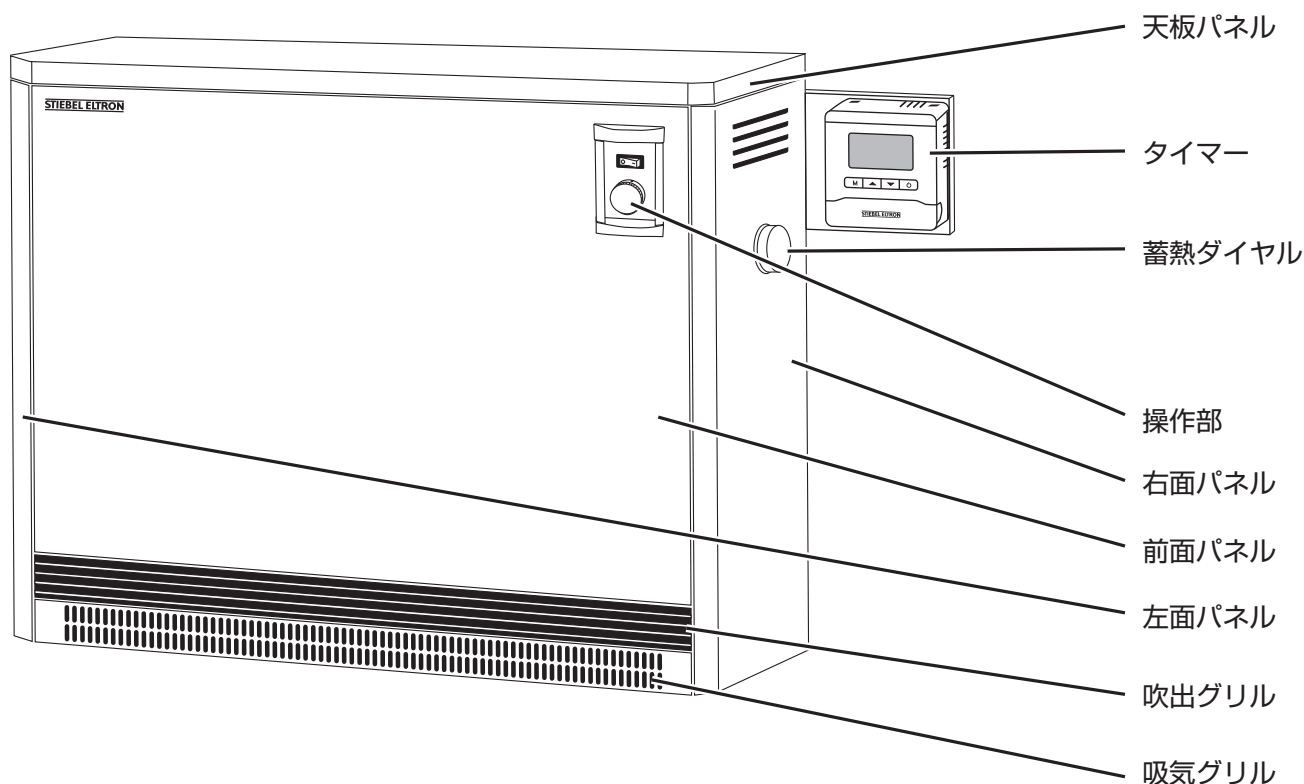
## 指示

-  機器に異常が発生した場合は、機器の電源をOFFにし、専用ブレーカを「切」(OFF) にして日本スティーベル（株）に電話でご連絡ください。
-  定期的に、タイマーの現在時刻と通電時間の設定、ディスプレイ表示を確認してください。（ETS-TMJ/Cは除く）
-  定期的に吸気グリルを清掃してください。
-  機器を使用した場合、暖房の熱等で家具や棚等の木質系素材が反る、割れる、変形の可能性があります。機器周辺には、乾燥、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。
-  機器を使用した場合、熱により周囲が変色する可能性があります。機器周辺には、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。
-  本取扱説明書付属の保証書に、「お客様」、「お取り扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の必要事項が記入され、お取り扱い店、及び取扱者印が捺印されていることを確認してください。
-  機器の所有者が変わる場合は、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ保管できるようにしてください。
-  機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

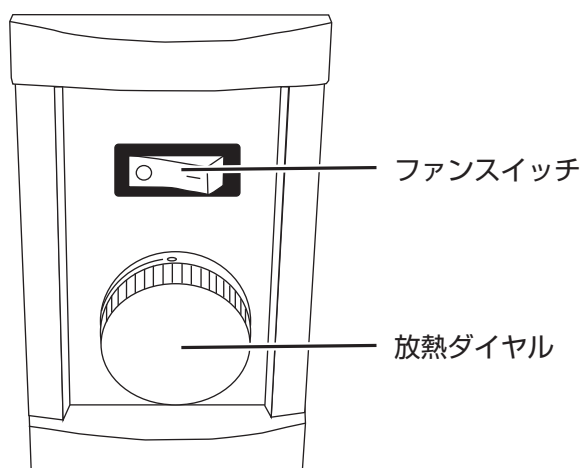
## 2. 各部のなまえと機器の特長

### 2-1. 各部のなまえ

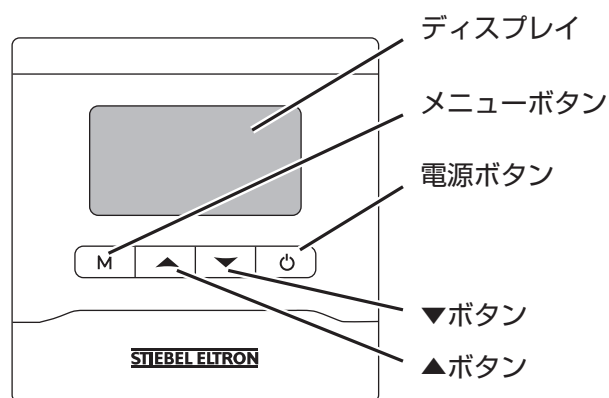
#### 2-1-1. 機器外観



#### 2-1-2. 操作部詳細



#### 2-1-3. タイマー詳細



ETS-TMJ/Cには、タイマーはありません。

### 2-2. 機器の特長

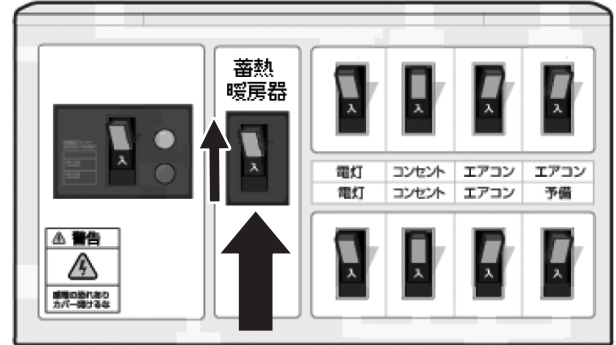
蓄熱式電気暖房器ETS-TMJシリーズ（文書中、「機器」と表記）は、内部の蓄熱体に熱を蓄え、その熱を自然に、または機器下部にある静音設計のクロスフローファンにより内部の熱を効率的に放熱することで部屋全体を暖める機器です。蓄熱中にも自然に放熱するため、24時間暖房に近い暖かさを得られます。火を使わないため、機器から水蒸気が発生せず、お部屋の結露や灯油臭がありません。アレルギーの原因となるカビ、ダニの発生を抑え、家にも人にも優しい暖かさを提供します。

# 3. タイマーの設定のしかた

ETS-TMJ/Cは、機器の専用ブレーカを「入」(ON) するのみで、タイマーの設定は、必要ありません。

## 3-1. 事前準備

- ①機器の専用ブレーカを「入」(ON) にして、タイマーのディスプレイに「スタンバイ」が点灯することを確認します。

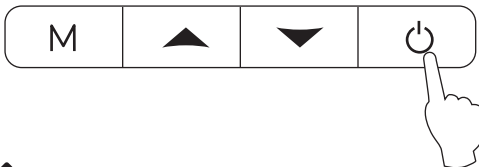


### MEMO

- ETS-TMJ/TシリーズとETS-TMJ/Cシリーズは、100Vと200Vの専用ブレーカをそれぞれ「入」(ON) にします。

タイマーのディスプレイ

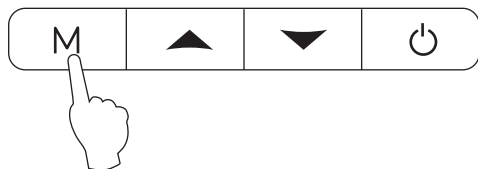
- ②タイマーの「電源ボタン」を押し、現在時刻が表示されることを確認します。



### MEMO

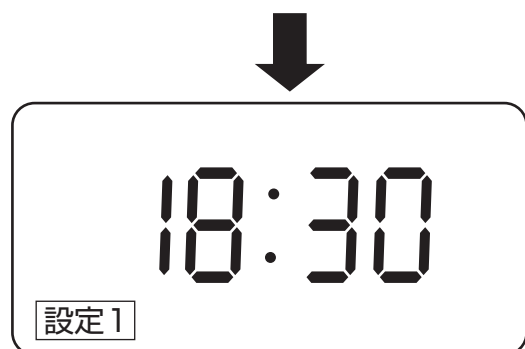
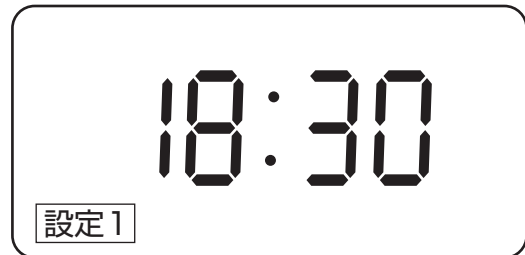
- 現在時刻がずれている場合は、P. 5「3-2. 現在時刻の設定」に従い、現在時刻を合わせます。

- ③「常時ON」と「蓄熱開始」の表示が点灯している場合は、「メニューボタン」を押して、「設定1」が点灯する状態に変更します。



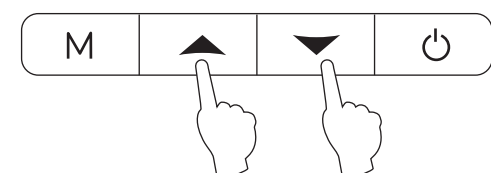
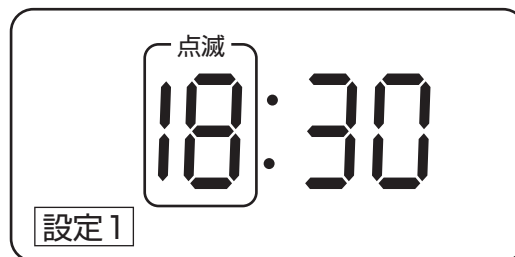
### 【重要】

- 「常時ON」が点灯している場合は、常時蓄熱している状態になり、電気代が高くなる可能性があります。

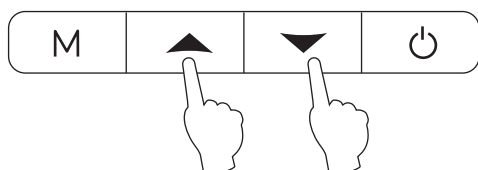
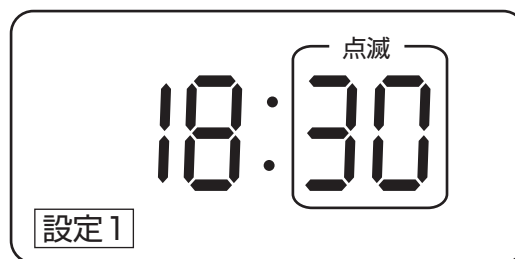
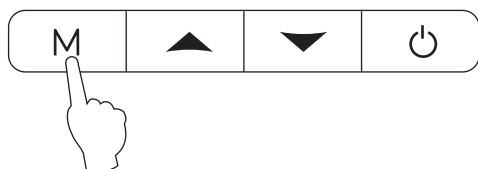


## 3-2. 現在時刻の設定

- ①「メニューボタン」を3秒間長押しし、「時刻」を点滅させ「▲ボタン」と「▼ボタン」で合わせます。



- ②「メニューボタン」を押して、「分」を点滅させ「▲ボタン」と「▼ボタン」で合わせます。



- ③「メニューボタン」を押すか、3秒間無操作で設定が確定します。

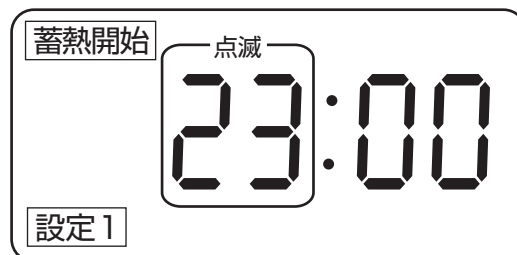
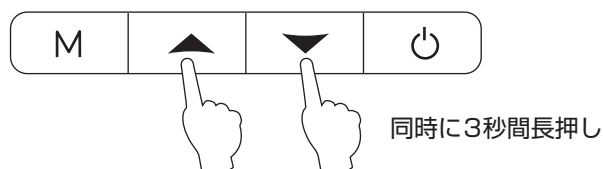
### 3-3. 通電時間の設定

①電気のご契約メニューから電気代の安い時間帯を確認します。

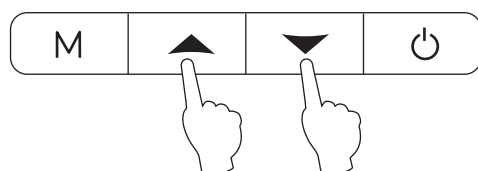
#### MEMO

○電気代の高い時間帯に蓄熱すると電気代が高くなる可能性があります。

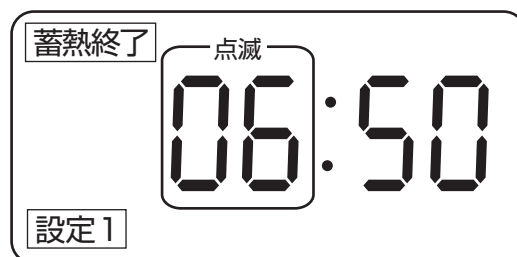
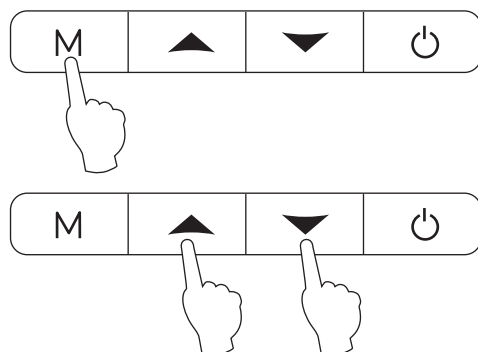
②「▲ボタン」と「▼ボタン」を同時に3秒間長押しし、「設定1」と「蓄熱開始」が点灯することを確認します。



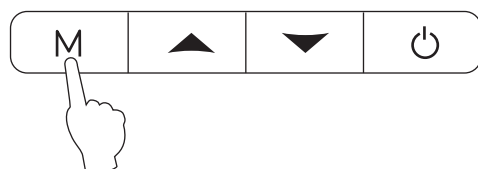
③「時刻」が点滅するので、「▲ボタン」と「▼ボタン」で蓄熱開始の「時刻」を合わせます。



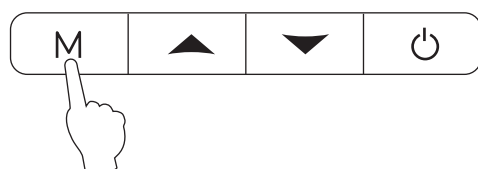
④「メニューボタン」を押して、「分」を点滅させ、「▲ボタン」と「▼ボタン」で蓄熱開始の「分」を合わせます。



⑤「メニューボタン」を押して、「設定1」と「蓄熱終了」が点灯することを確認します。

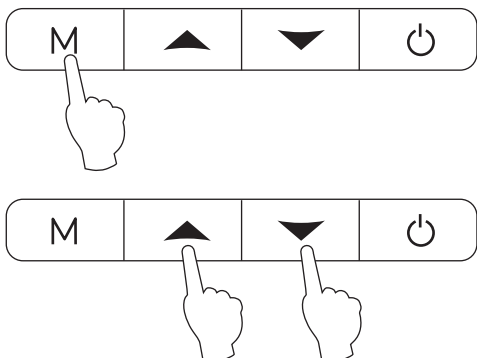


⑥「時刻」が点滅するので、「▲ボタン」と「▼ボタン」で蓄熱終了の「時刻」を合わせます。





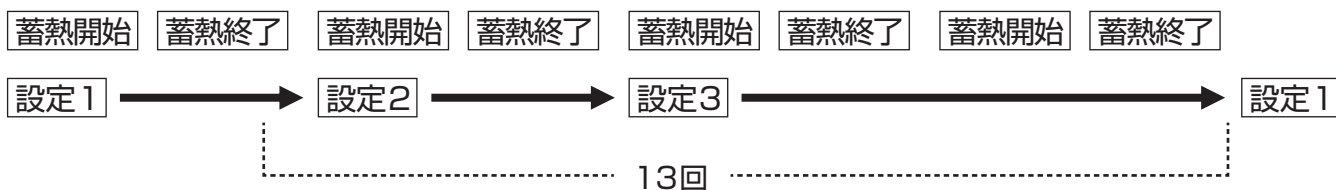
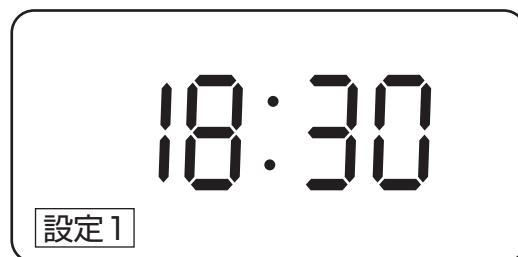
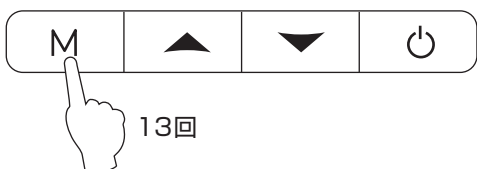
- ⑦「メニューボタン」を押して、「分」を点滅させ、「▲ボタン」と「▼ボタン」で蓄熱終了の「分」を合わせます。



## 【重要】

- 蓄熱開始時間は、お客様の電気契約で電気代の安い時間帯に合わせてください。
- 蓄熱終了時間は、お客様の電気契約で電気代の安い時間が終了する10分前に合わせてください。
- 通電時間を7時間50分より短く設定すると、十分に蓄熱されない場合があります。

- ⑧「メニューボタン」を、「設定2」、「設定3」の値を変更しないまま設定が終了するまで13回押し続けるか、3秒間無操作で設定が確定します。



各々「時間」と「分」の設定があります。

## MEMO

- 「設定2」、「設定3」を設定する必要はありません。

# 4. 使いかた

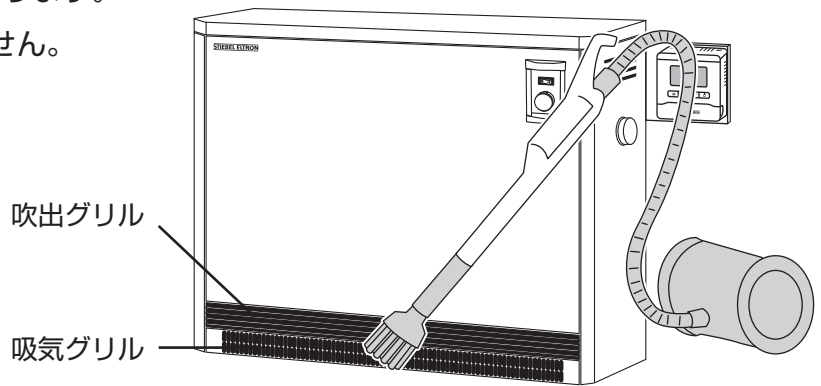
## 4-1. 事前準備

①P. 4「3. タイマーの設定のしかた」を参照して、タイマーを「設定1」に設定し、タイマーの現在時刻の確認、蓄熱開始時間、蓄熱終了の確認をします。

### MEMO

- タイマーの現在時刻、蓄熱開始時間、蓄熱終了時間がずれていると、蓄熱をしない、または高い電気料金の時間帯に蓄熱してしまうことがあります。
- ETS-TMJ/Cは、タイマーがありません。

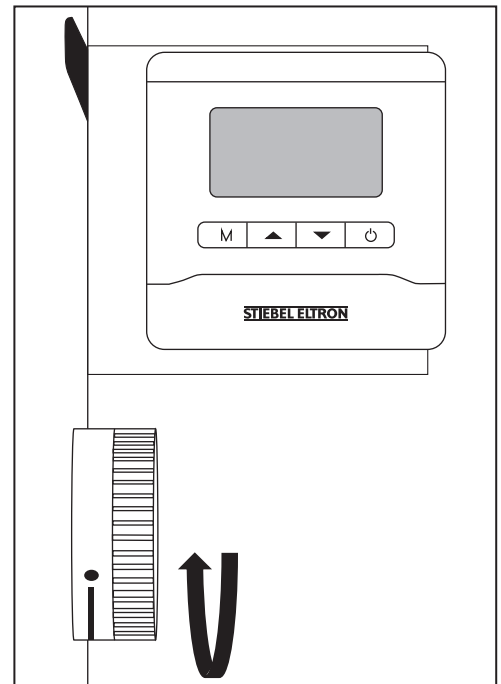
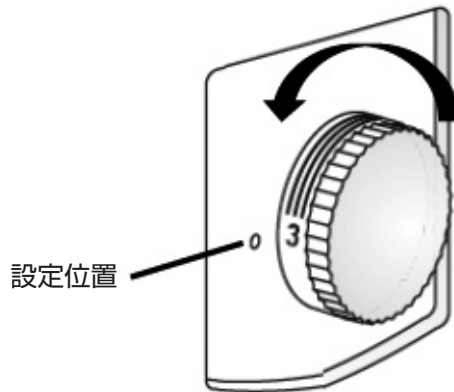
②吹出グリルと吸気グリルを清掃します。



## 4-2. 蓄熱量の設定

①暖房を開始したい前日の夜に、右面パネルにある蓄熱ダイヤルを「●・・1~3」の任意の位置に回して設定します。

- ：設定蓄熱量 0%
- 1：設定蓄熱量 35%
- 2：設定蓄熱量 70%
- 3：設定蓄熱量 100%



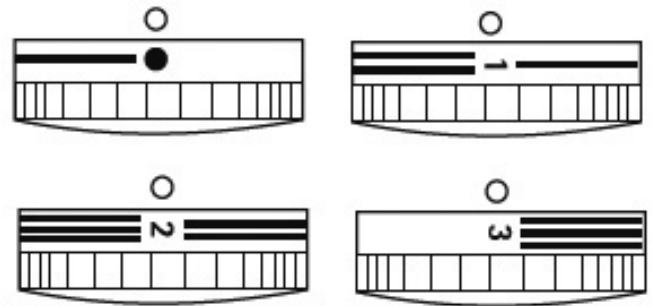
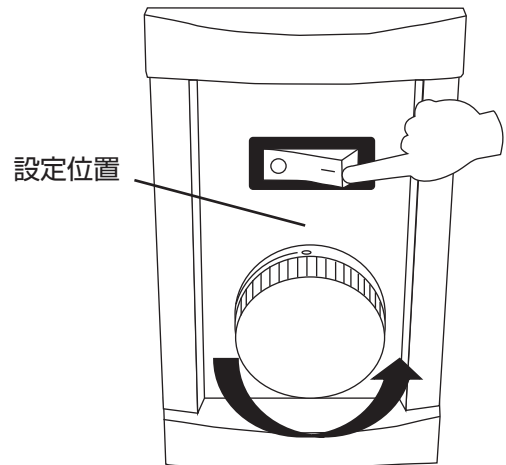
### MEMO

- 機器は、蓄熱量によって自然放熱の暖かさが変わります。春や秋に設定蓄熱量を大きくすると、お部屋が暖まりすぎる場合があります。その場合は、蓄熱量が自然に減るまで窓を開放する等をしていただく必要があります。そのようなことを避けるために、設定蓄熱量は翌日の天候を確認して設定してください。
- 「●」に設定した場合でも、室温が低い場合は蓄熱する場合があります。完全に蓄熱を停止したい場合は、必ず専用ブレーカを「切」(OFF)にしてください。

### 4-3. ファンの動かし方

①機器の自然放熱だけではお部屋が暖まらない場合は、放熱ダイヤルを任意の位置に回して合わせます。

- ：設定 0℃
- 1：設定 9℃
- 2：設定 18℃
- 3：設定 27℃



#### MEMO

- 設定温度はあくまでも目安です。
- ファンスイッチと放熱ダイヤルは、自然放熱の暖かさを調整するものではありません。

- ②ファンスイッチの「I」側を押してファンを回します。
- ③強制放熱が必要ない場合は「○」側を押してファンを停止します。

#### MEMO

- 機器内蔵の室温センサーが放熱ダイヤルの設定より高い温度を検知している場合は、ファンが一時停止します。
- 蓄熱している最中にファンを動作させ続けると、翌朝の蓄熱量が不足する場合があります。蓄熱中はできるだけ、ファンを停止させてください。

## 4-4. もう少しお部屋を暖めたい場合

### 4-4-1. ファン運転（機器の熱がまだ残っている場合に有効です。）

- ① P. 9「4-3. ファンの動かし方」に従い、放熱ダイヤルを設定し、ファンスイッチ「I」側を押します。

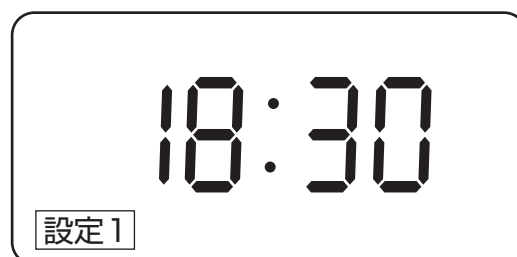
### 4-4-2. 追焚き（電気の契約によってはできない場合があります。）

- ①タイマーの「メニューボタン」を3回押して「常時ON」を表示させます。

- ②「常時ON」を表示後、「蓄熱開始」が点灯して、追焚きを開始します。



- ③追焚きを終了する場合は、「メニューボタン」を2回押して「設定1」を表示させます。



#### MEMO

- 追焚きを電気代の高い時間帯に使用し続けると電気代が高くなる場合があります。できるだけ電気代が安い時間帯に蓄熱した熱で暖房できるように、事前に設定蓄熱量を調整してください。
- ETS-TMJ/Cは、この機能はありません。

### 4-4-3. 補助暖房器の使用

- ①蓄熱が不足する日のみエアコン等の補助暖房器を使用してください。
- ②翌日に向けて、設定蓄熱量を調整してください。

#### MEMO

- 補助暖房器を使用することによって電気代が高くなる場合があります。

## 4-5. 外出する場合

### 4-5-1. 短時間の場合 (数時間)

- ①ファンスイッチの「○」側を押してファンを止めます。(P. 9「4-3」参照)
- ②機器の周辺に可燃物等が置かれていないことを確認します。

### 4-5-2. 短時間の場合 (数日)

- ①ファンスイッチの「○」側を押してファンを止めます。(P. 9「4-3」参照)
- ②蓄熱ダイヤルを「●~3」の任意の位置に設定しておきます。(P. 8「4-2」参照)
- ③機器の周辺に可燃物等が置かれていないことを確認します。



- 蓄熱ダイヤルを「●」に設定する、または機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にすると、ご帰宅された当日は、蓄熱がされていない状態になります。

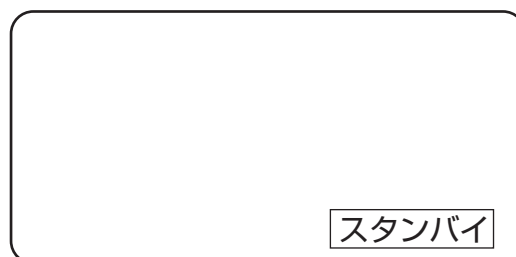
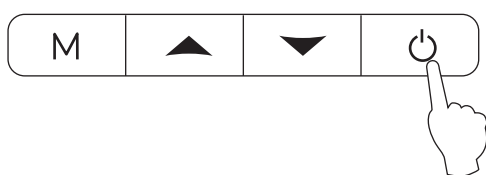
### 4-5-3. 長期間の場合 (数週間)

- ①ファンスイッチの「○」側を押してファンを止めます。(P. 9「4-3」参照)
- ②蓄熱ダイヤルを「●」に設定します。(P. 8「4-2」参照)
- ③機器の周辺に可燃物等が置かれていないことを確認します。

## 4-6. 暖房を止めたい場合

- ①ファンスイッチの「○」側を押してファンを止めます。(P. 9「4-3」参照)
- ②蓄熱ダイヤルを「●」に設定します。(P. 8「4-2」参照)
- ③タイマーの「電源ボタン」を押して、「スタンバイ」を表示させます。

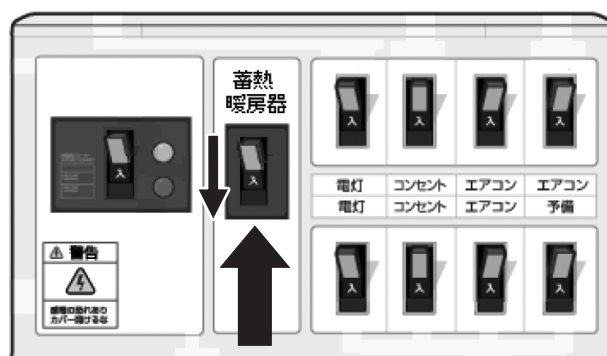
(ETS-TMJ/Cは、必要ありません。)



- ④機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にします。



- 蓄熱暖房器は、専用ブレーカを「切」(OFF)にしても、数日間は内部に熱が残る場合があります。

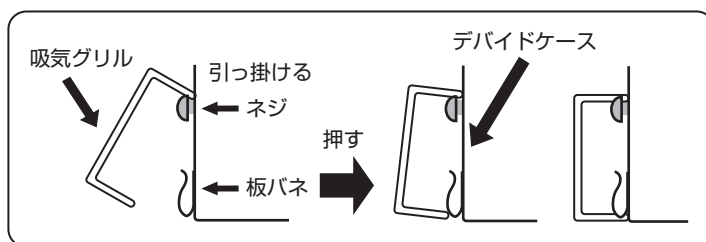
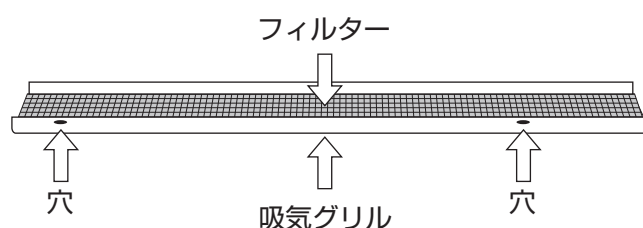
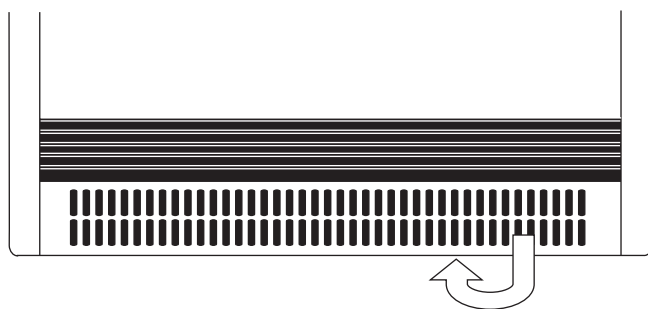


# 5. 日常の点検とお手入れ

## 5-1. 機器のお手入れについて

### 5-1-1. 機器をご使用になる前に

- ①機器をご使用になる前に、吸気グリルの下側を手前に引いて外して、掃除機等で清掃します。(フィルターは、オプションです。)
- ②機器をご使用になる前に、タイマーの現在時刻が合っていることを確認します。(ETS-TMJ/Cにはタイマーはありません。) 現在時刻がずれている場合は、P. 5「3-2. 現在時刻の設定」を参照して、現在時刻を合わせます。また、P. 13「タイマーの電池交換」を参照して、タイマーの電池を新しい電池に交換します。
- ③機器をご使用になる前に、タイマーの蓄熱開始時間と蓄熱終了時間が合っていることを確認します。蓄熱開始時間と蓄熱終了時間がずれている場合は、P. 6「3-3. 通電時間の設定」を参照して、蓄熱開始時間と蓄熱終了時間を合わせます。

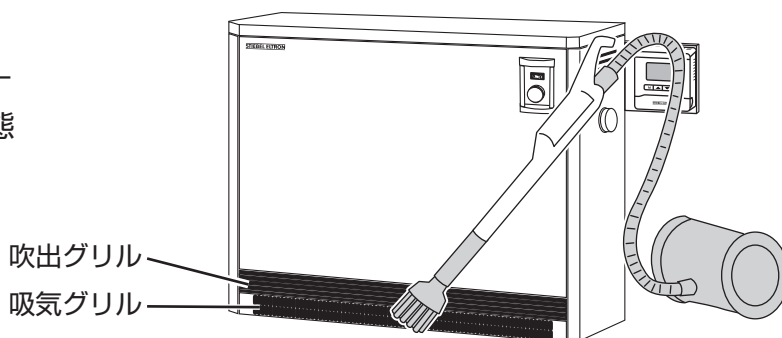


### 【重要】

- タイマーの現在時刻、蓄熱開始時間、蓄熱終了時間がずれていることによる電気代は、保証しておりません。必ずお客様ご自身で、タイマーの設定を確認してください。

### 5-1-2. 定期的なお手入れ

- ①1週間に一度、ファンを停止 (P. 9「4-3. ファンの動かしかた」参照) した状態で吸気グリルを清掃します。



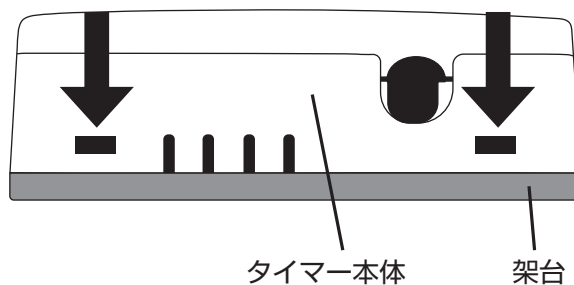
- ②機器の前面パネル等についた汚れは、機器が冷えている状態になってから拭き取ります。
- ③機器に水等を掛けてしまった場合は、素早く拭き取ります。その際に使用する布巾等は、機器に長時間接触させないでください。

### MEMO

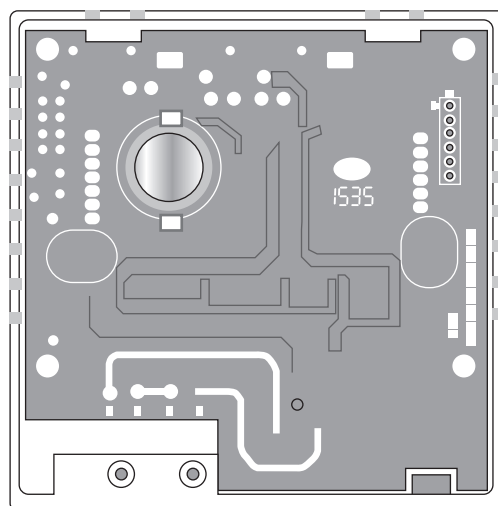
- 熱が溜まっている状態で、吹出グリルを掃除機で清掃しないでください。掃除機が熱により破損する可能性があります。

## 5-2. タイマーの電池交換

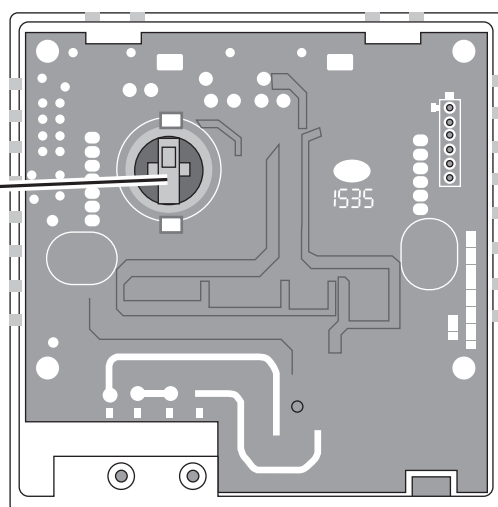
- ①機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にします。
- ②タイマー下部の矢印の位置2ヶ所に刃先6mm以下のマイナスドライバーを差し込み、前面側に引き上げて、タイマー本体を架台から外します。



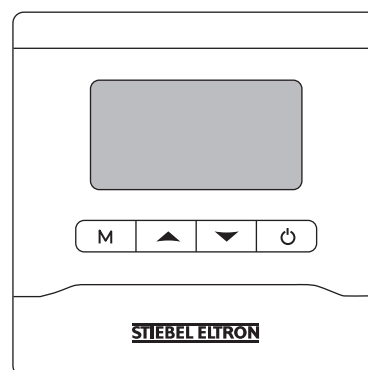
- ③タイマー本体裏側の電池の下部の矢印の位置に直径1.8mm以下の細い棒を差し込み、前面に引き上げて、電池を外します。
- ④交換用の電池 (CR1220) は「+」を上側にして、基板の所定の位置にセットします。



電池セット位置



- ⑤タイマー本体は、上部を架台に引掛け、下部を前面側から押して、架台に固定します。
- ⑥電池交換後は、現在時刻、蓄熱開始時間、蓄熱終了時間を確認します。現在時刻、蓄熱開始時間、蓄熱終了時間がずれている場合は、P. 4「3. タイマーの設定のしかた」を参照して合わせます。



# 6. 故障かな?と思ったら

現象	確認項目	処置方法	参照ページ
蓄熱しない	ブレーカ	専用ブレーカを「入」(ON)にします。 ETS-TMJ/Tと、ETS-TMJ/Cは、100Vと200Vの 2つの専用ブレーカを「入」(ON)にします。	P. 8 4-1
	蓄熱ダイヤル	蓄熱ダイヤルを「●」以外にします。	P. 8 4-2
	タイマー	現在時刻を合わせます。	P. 5 3-2
		「設定1」の蓄熱開始時間／蓄熱終了時間を正しく設定します。	P. 6 3-3
機器の周囲環境	機器の隔離距離を守れるよう、周辺の物を移動させます。	P. 1 1	
タイマーが点灯しない	ブレーカ	専用ブレーカを「入」(ON)にします。	P. 8 4-1
タイマーの時刻表示が 点灯しない	タイマー	タイマーの電源ボタンを押します。	P. 4 3-1
タイマーの現在時刻が ずれる	タイマー	タイマーの電池を交換し、現在時刻を合わせます。	P. 13 5-2
ファンが回らない	ファンスイッチ	ファンスイッチを「I」にします。	P. 9 4-3
	放熱ダイヤル	放熱ダイヤルを「3」に設定してみます。	P. 9 4-3
	吸気グリル	吸気グリルを清掃します。	P. 12 5-1
	機器の周囲環境	機器の前面側の隔離が守れるよう、障害物を移動させます。	P. 1 1
機器が熱過ぎる	蓄熱ダイヤル	蓄熱ダイヤルを下げて、翌日の蓄熱状態を確認します。	P. 8 4-2
	タイマー	メニューボタンを押して「設定1」に設定します。	P. 10 4-4
「設定1」の蓄熱開始時間／蓄熱終了時間を正しく設定します。		P. 6 3-3	
蓄熱する時間が ずれている	タイマー	メニューボタンを押して「設定1」にします。	P. 10 4-4
		現在時刻と、「設定1」の蓄熱開始時間／蓄熱終了時間を正しく設定します。	P. 5 3-2 P. 6 3-3
蓄熱中に異音がある	機器の周囲環境	熱影響で周辺の木製家具や、ホーロー製品等が異音を発していないか確認 します。	—————
ファン動作時に異音が する	機器の周囲環境	吹出グリルから風が流れていることを確認します。	—————
ファンが止まらない	ファンスイッチ	ファンスイッチを「O」にします。	P. 9 4-3
	放熱ダイヤル	放熱ダイヤルを「●」にします。	P. 9 4-3
機器のブレーカが 落ちる	—————	日本スティーベル(株)にご連絡ください。	P. 15 7
家全体のブレーカが 落ちる	機器の動作状況	機器の蓄熱中に落ちるのか、ファン動作中に落ちるのか確認の上、 日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。	P. 15 7

処置後も現象が改善しない場合は、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。(P. 15「7. 点検および修理について」参照)



# 7. 点検および修理について

## (1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書(P.14「6. 故障かな?と思ったら」)をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。

**TEL: 044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ①型 名 : 銘板ラベルに併記
- ②製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③不具合の具体的内容 : 蓄熱しない等の症状、及びご使用条件
- ④お取付け年月日
- ⑤お名前、ご住所、電話番号

## (2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

## (3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。



### おねがい

- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無償修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

# 8. 仕様

型名	ETS-200	ETS-300	ETS-400	ETS-500	ETS-600	ETS-700	
	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	
ヒーター電源	単相 200V 50 / 60Hz						
制御電源	単相 100V 50 / 60Hz (ETS-TMJ/T、ETS-TMJ/Cのみ)						
ヒーター消費電力 (kW)	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	
ファン消費電力 (W)	6.0	7.6	12.0	13.6	15.2	19.6	
最大蓄熱量 (kWh)	17.0	25.5	35.0	42.0	51.0	61.5	
有効蓄熱量 (kWh)	14.3	21.6	28.7	36.0	43.3	50.1	
外形寸法	幅 (mm)	605	780	955	1130	1305	1480
	高さ (mm)	650	650	650	650	650	650
	奥行 (mm)	245	245	245	245	245	245
総質量 (kg)	118	169	220	271	322	373	
蓄熱体質量 (kg)	86	129	172	215	258	301	
蓄熱体	梱包数	6	9	12	15	18	21
	蓄熱体数	12	18	24	30	36	42
付属のタイマー	ETS-TMJ、ETS-TMJ/Tのみ						
オプション品	吹出口ガード	アルミ製 吹出口ガード					
	吸気フィルター	機種別ホコリ侵入防止用					

# 蓄熱式電気暖房器 取付説明書

## 型 名…… ETS-TMJシリーズ

- ETS-200TMJ
- ETS-300TMJ
- ETS-400TMJ
- ETS-500TMJ
- ETS-600TMJ
- ETS-700TMJ
- ETS-200TMJ/T
- ETS-300TMJ/T
- ETS-400TMJ/T
- ETS-500TMJ/T
- ETS-600TMJ/T
- ETS-700TMJ/T
- ETS-200TMJ/C
- ETS-300TMJ/C
- ETS-400TMJ/C
- ETS-500TMJ/C
- ETS-600TMJ/C
- ETS-700TMJ/C



## 取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP.18「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。
- 別紙、保証書(写)に必要事項を記入の上、必ず保管してください。




# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。












 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
--	---

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>禁止マーク</b>	してはいけないことを示します。
 <b>注意マーク</b>	注意することを示します。
 <b>指示マーク</b>	必ず行なうことを示します。

## 警告

### 禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  付属の電源ケーブルを外さないでください。
-  取外しの指定がない部品は、取外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  ヒーター電源ケーブルに200V以外の屋内配線を接続しないでください。
-  制御電源ケーブルに100V以外の屋内配線を接続しないでください。  
(ETS-TMJ/T、ETS-TMJ/Cのみ)
-  付属のタイマー以外で蓄熱時間を設定しないでください。
-  機器に水を掛けしないでください。機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  屋外や、湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器の試運転中、試運転後は、機器表面や吹出グリルが熱くなっていますので触らないでください。
-  畳、じゅうたん、クッションフロア等の上に設置するのは、絶対におやめください。



機器の近くで、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物を保管したり、使用したりする場所には設置しないでください。



他の機器と隣接させないでください。



全ての端子台のネジは、必ず増締めし、増締めを行なわないまま引き渡さないでください。



## 注意



電源ケーブルの配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。



電源ケーブルを機器内部で弛ませないでください。



## 指示



アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。



専用の漏電ブレーカを必ず設置してください。



電圧は、定格電圧の±10%以内であることを確認してください。



屋内配線は、電源仕様、定格電流、及び消費電力を機器の左面パネル下部の銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って配線を行なってください。



ジョイントボックスは、機器の右面パネルから50mm以上離して設置してください。



100Vの制御電源は、電源プラグ等は使用せず、直結で屋内配線に接続してください。  
(ETS-TMJ/T、ETS-TMJ/Cのみ)



端子台の配線と、右面パネル裏の結線図ラベルの配線が一致していることを確認してください。



機器は、適切な壁補強並びに床補強を行なった後、設置してください。



壁固定金具が正しく取付けられ、機器がしっかりと壁面と床面に固定されていることを確かめてください。



機器を正常に動作させるために、離隔距離を守って設置してください。

	前面	上面	左面	右面	背面	可燃物
離隔距離	500mm以上	100mm以上	70mm以上 ※	150mm以上	65mm	150mm以上

※他の機器と150mm以上離隔をとってください。



設置地域の火災予防条例に則した離隔距離を取ってください。

## 注意

### 禁止



設置前の機器は、雨水、風雪が当たる場所には置かないでください。



設置前の蓄熱体は、雨水や風雪が当たる場所や、雪上、氷上には置かないでください。



機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

### 注意



機器のパネルやグリル等を外す場合は、怪我をしないように気を付けてください。



蓄熱体は、落としたりしないよう両手で持って運んでください。

### 指示



仕上げ材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等は、ホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。



棚下等に設置した場合は、棚板等の含水量や空気の乾燥度によっては反る場合があります。正しい離隔を保たれていても、板等の反りについては保証しておりません。



機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず、日本スティーベル(株)に電話でご連絡ください。



必ず試運転を行ってから、お客様に引き渡してください。



試運転の際に、タイマーの現在時刻、蓄熱開始時間、蓄熱終了時間をお客様の電気契約に適した時刻に設定してください。(ETS-TMJ、ETS-TMJ/Tのみ)



検査記録表 (P. 36「7. 試運転 (2) 検査記録」) に試運転時の検査記録を必ず記入してください。



取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。

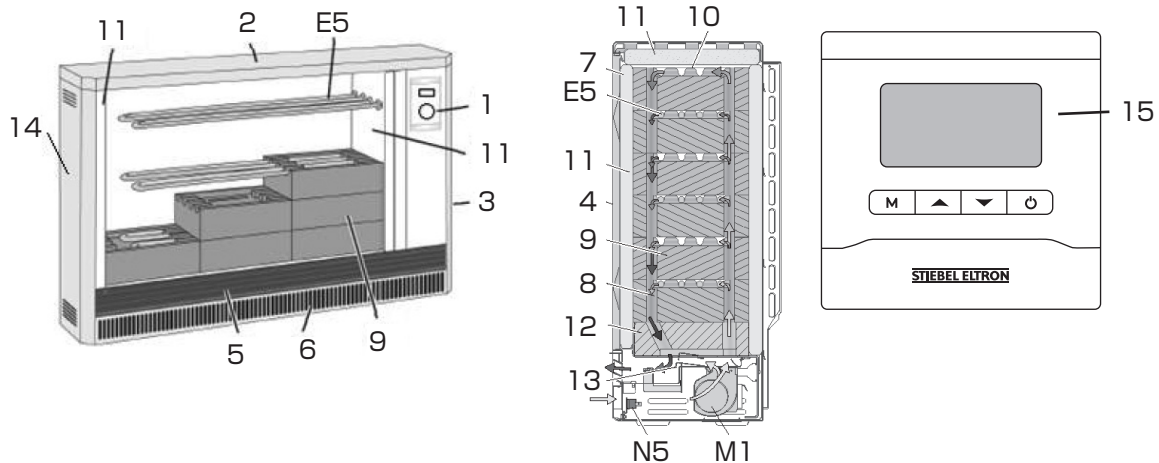


工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。



取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようにお渡しください。

## 2. 各部のなまえ



- |         |              |                |
|---------|--------------|----------------|
| 1：操作部   | 8：ダブルエアダクト   | 15：タイマー        |
| 2：天板パネル | 9：蓄熱体        | (ETS-TMJ/Cを除く) |
| 3：右面パネル | 10：対流板       | E5：ヒーター        |
| 4：前面パネル | 11：断熱材       | M1：ファン         |
| 5：吹出グリル | 12：下部断熱材     | N5：放熱異常バイメタル   |
| 6：吸気グリル | 13：ダブルエアダンパー |                |
| 7：バッフル板 | 14：左面パネル     |                |

## 3. 部品の確認

部品名	数量	同梱場所	機種
機器本体	1	—	機種別
蓄熱体	6/9/12 15/18/21 梱包	別梱包	200/300/400 500/600/700
取扱取付説明書	1	機器天板上	全機種共通
タイマー&タイマー固定ネジ	1	機器内部 M4×8ネジ	ETS-TMJ/Cシリーズを除く
タイマー取付金具	1	機器内部	ETS-TMJ/Cシリーズを除く
背面固定金具	1	機器背面	機種別
対流板	1	機器内部	機種別
ご使用上の注意シール	1	取扱取付説明書 挟み込み	全機種共通
背面・床固定ビスセット	1式	機器内部	機種別
内 訳	数 量	ネジサイズ	機 種
インシュロック	1		全機種共通
背面固定金具用 ネジ&ワッシャー	7/7/8 9/9/10	φ6×40	200/300/400 500/600/700
背面固定金具用 固定ネジ&歯付座金	4	M4×8	全機種共通
床固定用 ネジ&ワッシャー	2	φ6×30	全機種共通
背面固定補強金具	1/2/3	—	200~500/600/ 700
背面固定補強金具用固定ネジ M5×10&歯付座金	3/6/9	M5×10	200~500/600/ 700
タイマー取付金具固定 ネジ&歯付座金	2	M5×10	全機種共通

# 4. 仕様

型名	ETS-200	ETS-300	ETS-400	ETS-500	ETS-600	ETS-700	
	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	TMJ TMJ/T TMJ/C	
ヒーター電源	単相 200V 50 / 60Hz						
制御電源	単相 100V 50 / 60Hz (ETS-TMJ/T、ETS-TMJ/Cのみ)						
ヒーター消費電力 (kW)	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	
ファン消費電力 (W)	6.0	7.6	12.0	13.6	15.2	19.6	
最大蓄熱量 (kWh)	17.0	25.5	35.0	42.0	51.0	61.5	
有効蓄熱量 (kWh)	14.3	21.6	28.7	36.0	43.3	50.1	
外形寸法	幅 (mm)	605	780	955	1130	1305	1480
	高さ (mm)	650	650	650	650	650	650
	奥行 (mm)	245	245	245	245	245	245
総質量 (kg)	118	169	220	271	322	373	
蓄熱体質量 (kg)	86	129	172	215	258	301	
蓄熱体	梱包数	6	9	12	15	18	21
	蓄熱体数	12	18	24	30	36	42
ヒーター	高耐熱ステンレスシーズヒーター						
蓄熱体	フェオライト						
蓄熱センサー	液体膨張式 167℃ OFF						
室温センサー	液体膨張式 43℃ OFF						
手動復帰式過昇温防止器	150℃ OFF (開)						
蓄熱異常バイメタル	138℃ OFF (開)						
放熱異常バイメタル	58℃ OFF (開)						
耐震センサー	40℃ OFF (開)						
付属のタイマー	ETS-TMJ、ETS-TMJ/Tのみ						



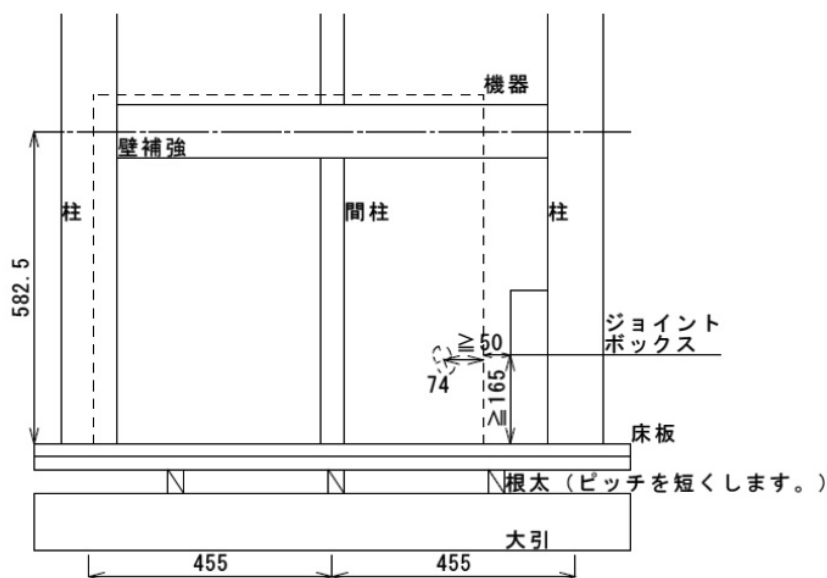
# 5. 機器の設置

## 5-1. 事前準備

- ①機器を設置する床に、機器の質量に耐える補強がしてあることを確認します。
- ②機器の設置位置に畳や、じゅうたん、クッションフロア等が敷かれていないことを確認します。
- ③機器を設置する床面の傾斜が水平であること（床の傾斜 $\leq 3 / 1000$ ）を確認します。
- ④機器を固定する壁が、合板等で柱や間柱（床 $582.5\text{mm}$ の高さ）に固定してあることを確認します。
- ⑤機器設置位置の右端から $50\text{mm}$ 以上離れた位置のジョイントボックス内で、屋内配線と、ヒーター電源ケーブル、制御電源ケーブル（ETS-TMJ/T、ETS-TMJ/Cのみ）を接続できることを確認します。
- ⑥屋内配線が、内線規程に適合した配線であることを確認します。
- ⑦機器の離隔距離が守れることを確認します。

### MEMO

- 左面の離隔は、 $150\text{mm}$ 以上とすると機器の固定作業がやりやすくなります。

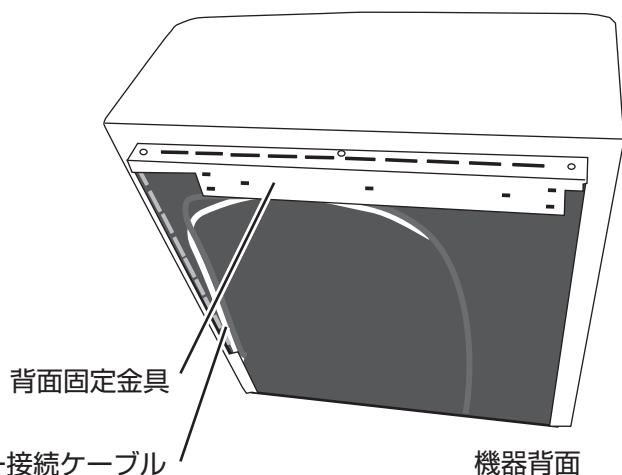


- ⑧壁紙、床材等は熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用されていることを確認します。

## 5-2. 付属品の確認と背面固定金具の固定

### 5-2-1. 機器外観の確認

- ①機器の天板パネルに置いてある取扱付説明書を保管します。
- ②機器背面の背面固定金具を固定しているインシュロックを切り保管します。
- ③機器の正面から見て右下にヒーター電源ケーブルと、制御電源ケーブル、タイマー接続ケーブル各1本が出ていることを確認します。

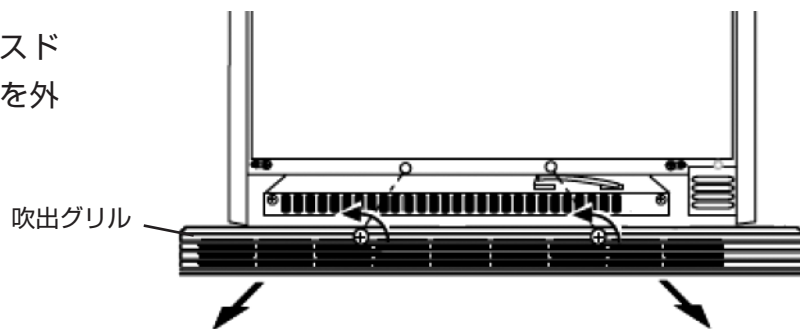


ヒーター電源ケーブルと、制御電源ケーブル、タイマー接続ケーブル  
（制御電源ケーブルは、ETS-TMJ/T、ETS-TMJ/Cのみ）

## 5-2-2. 付属部品の確認

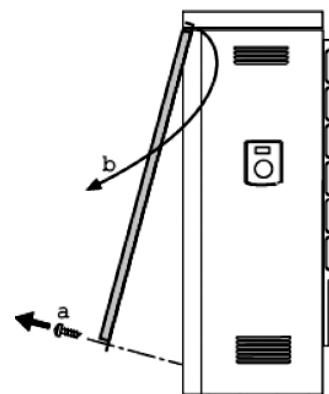
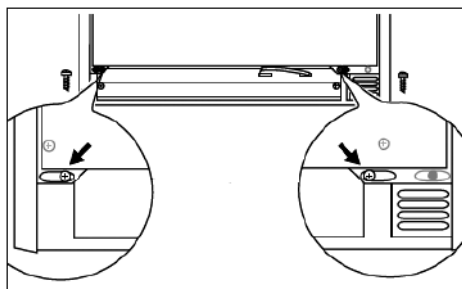
①吹出グリル中央の固定ネジ2本をプラスドライバーで半回転回して、吹出グリルを外します。

②吸気グリルを手前に引いて外します。



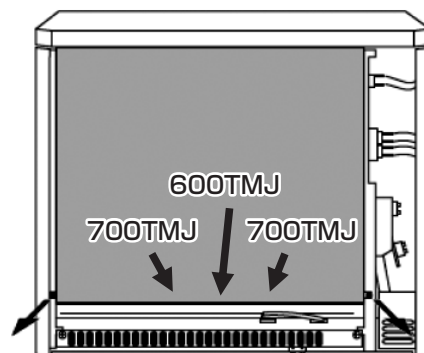
③前面パネル下部のM4×8のネジ2本をプラスドライバーで外します。

④前面パネル下部を少し手前に引き、上に持ち上げて機器から外します。  
(右図)

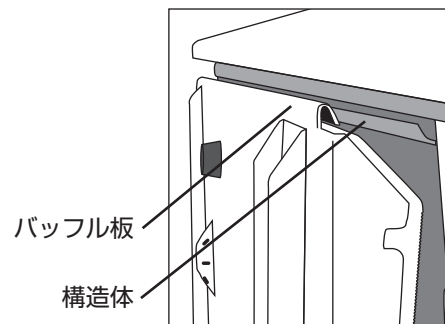
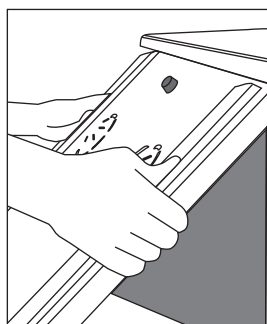


⑤バッフル板下部両端のM4×8のネジ2本をプラスドライバーで外します。

ETS-600T 6kWタイプは中央に1本、  
ETS-700T 7kWタイプは中央に2本、  
φ4×35のネジで固定しています。



⑥バッフル板下部を少し手前に引き、上に持ち上げて機器から外します。

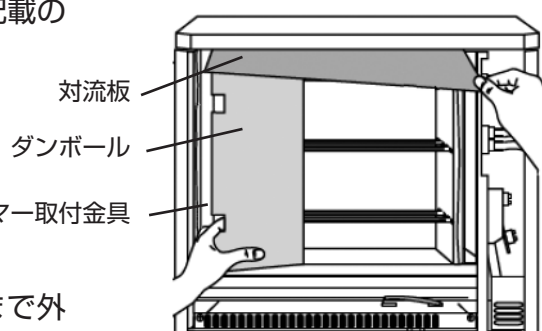


⑦機器内部左側に同梱してある、P. 21「3. 部品の確認」に記載の部品、及び対流板を取り出します。

背面・床固定ビスセット、タイマー、タイマー取付金具

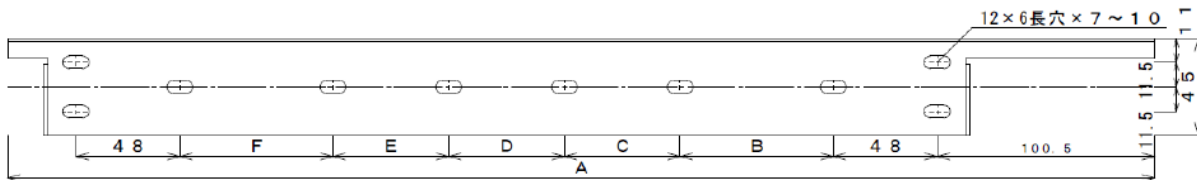
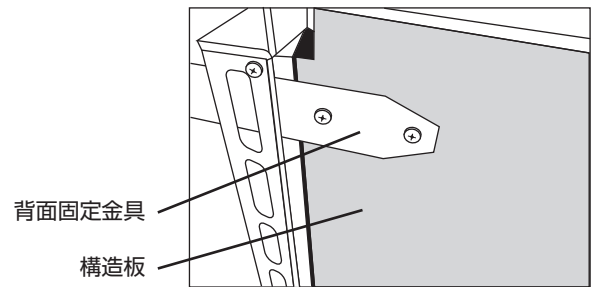
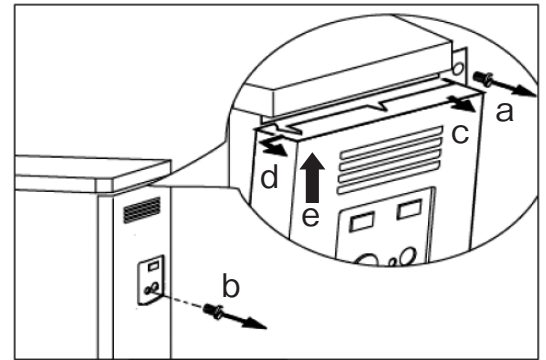
### MEMO

○ヒーターを固定しているダンボールは、蓄熱体を入れるまで外さないようにします。



### 5-2-3. 背面固定金具の固定

- ①左面パネル上部の背面側のM4×8のネジをプラスドライバーで外します。
- ②左面パネル上部背面側を外側に少し引いた後、前面側にずらし、上に持ち上げて外します。
- ③蓄熱ダイヤルを引き抜きます。
- ④右面パネル上部の背面側のM4×8のネジと、蓄熱ダイヤル裏のM4×8のネジをプラスドライバーで外します。
- ⑤右面パネル上部背面側を外側に少し引いた後、前面側にずらし、上に持ち上げて外します。
- ⑥背面固定金具を付属のM4×8固定ネジ4本で機器にプラスドライバーで仮固定します。
- ⑦機器を設置位置に仮置きして、背面固定金具の固定位置を墨出しします。

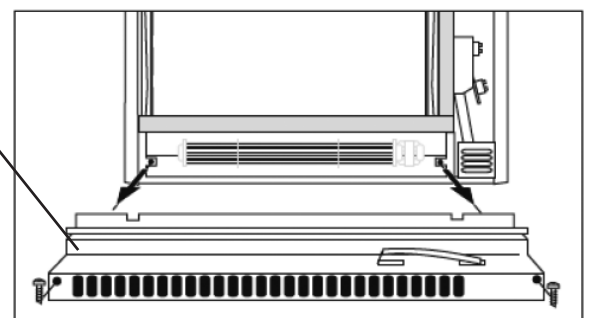


型名	A	B	C	D	E	F
ETS-200T 2kWタイプ	530	151	-	-	-	-
ETS-300T 3kWタイプ	705	238	-	-	-	-
ETS-400T 4kWタイプ	880	227	198	-	-	-
ETS-500T 5kWタイプ	1055	221.5	192	192	-	-
ETS-600T 6kWタイプ	1230	263	232	232	-	-
ETS-700T 7kWタイプ	1405	254	223	223	223	254

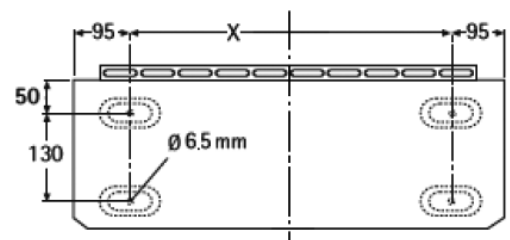
単位：mm

- ⑧デバイドケースを固定しているM4×8のネジ2本をプラスドライバーで外し、デバイドケースを引き出します。
- ⑨床固定位置（前面側2カ所）を墨出しします。

デバイドケース



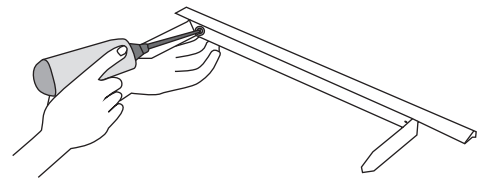
型名	距離 (mm)
ETS-200T 2kWタイプ	415
ETS-300T 3kWタイプ	590
ETS-400T 4kWタイプ	765
ETS-500T 5kWタイプ	940
ETS-600T 6kWタイプ	1115
ETS-700T 7kWタイプ	1290



#### MEMO

- アンカーボルト等で床固定する場合は、付属のΦ6のネジに適合した太さのアンカーボルトを使用してください。
- アンカーボルトの機器側へ出代は、ナットで固定できる最低限の長さにしてください。

- ⑩機器をずらし、背面固定金具を機器から外します。
- ⑪床固定位置に墨出しした位置に下穴を開けておきます。
- ⑫壁面に墨出しした位置に、付属のΦ6×40固定ネジを全て使用して、背面固定金具を固定します。



## 5-3. 電源ケーブルの接続

### 5-3-1. 電源ケーブルの圧着

- ①機器に付いているヒーター電源ケーブルと、制御電源ケーブル (ETS-TMJ/T、ETS-TMJ/Cのみ) は、機器外でできるだけ弛まないように、必要最低限の長さに切断します。
- ②電源ケーブルと屋内配線を接続できるよう、機器をジョイントボックスに近づけます。
- ③電源ケーブルと屋内配線を、配線の太さに適合したスリーブで圧着接続します。
- ④機器の黄色/緑のアース線を屋内配線のアース線と圧着接続します。
- ⑤接続部はジョイントボックスに収納します。

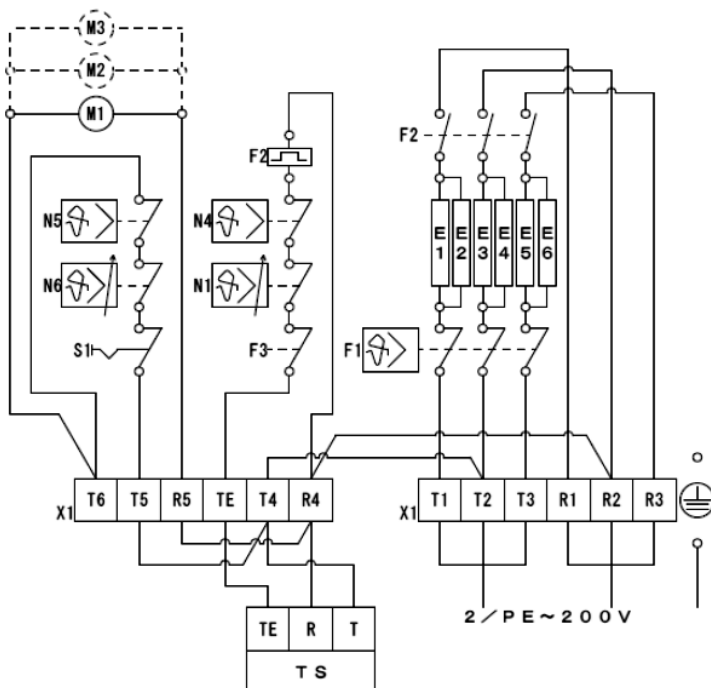
#### MEMO

○6kW、7kWのヒーター容量の機器は、必ず下表のリングスリーブを使用します。

機種	機器のヒーター容量	スリーブ	対応燃線
VVケーブル	6kWタイプ	P形 P14	10.52 ~ 16.78mm <sup>2</sup>
	7kWタイプ	P形 P22	16.78 ~ 26.66mm <sup>2</sup>
CVケーブル	6kWタイプ	P形 P8	6.64 ~ 10.52mm <sup>2</sup>
	7kWタイプ	P形 P14	10.52 ~ 16.78mm <sup>2</sup>

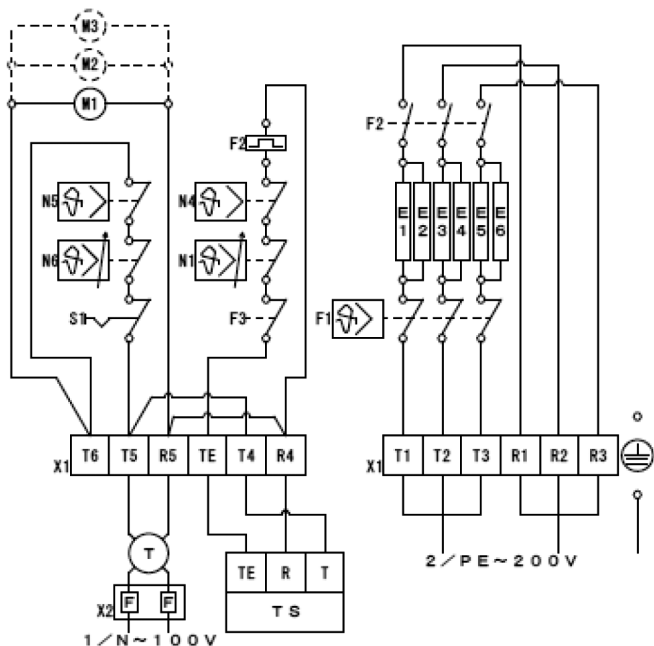
- スリーブの絶縁処理は、自己融着テープを使用します。
- 電源ケーブルは、決して減線せずに、ケーブルの太さに適したスリーブを使用します。

### 5-3-2. ETS-TMJ結線図

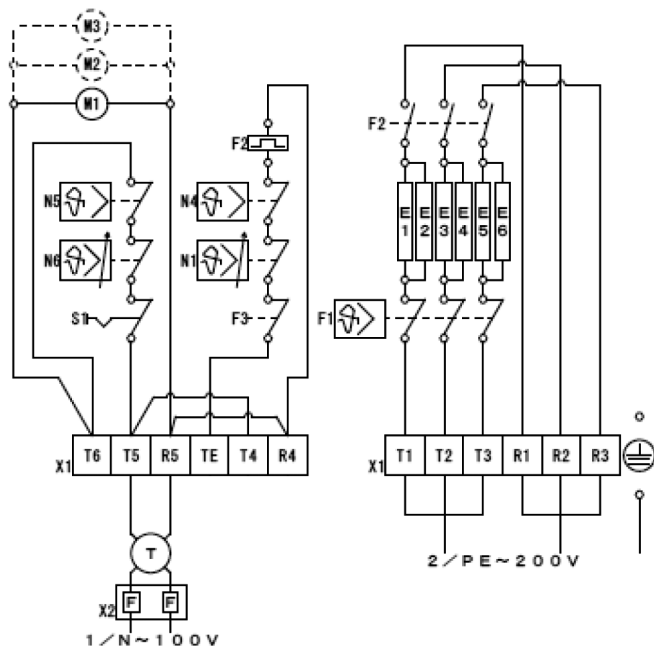


- E1-E6：ヒーター
- F1：手動復帰式過昇温防止器
- F2：サーマルリレー
- F3：耐震センサー
- M1-M3：ファン
- N1：蓄熱コントローラ
- N4：蓄熱異常バイメタル
- N5：放熱異常バイメタル
- N6：室温コントローラ
- S1：ファンスイッチ
- TS：タイムスイッチ
- X1：端子台

### 5-3-3. ETS-TMJ/T結線図



### 5-3-4. ETS-TMJ/C結線図



E1-E6 : ヒーター

F : ヒューズ

F1 : 手動復帰式過昇温防止器

F2 : サーマルリレー

F3 : 耐震センサー

M1-M3 : ファン

N1 : 蓄熱コントローラ

N4 : 蓄熱異常バイメタル

X2 : ヒューズホルダー

N5 : 放熱異常バイメタル

N6 : 室温コントローラ

S1 : ファンスイッチ

T : アップトランス

TS : タイムスイッチ

(ETS-TMJ/Tのみ)

X1 : 端子台

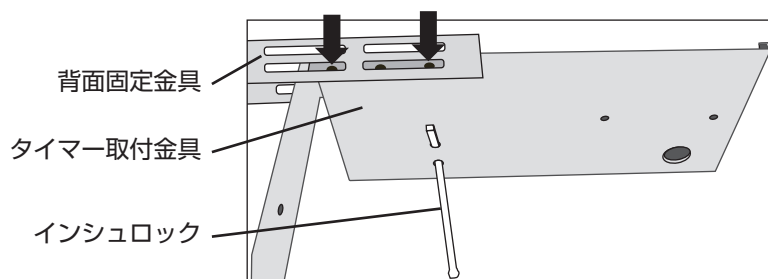
ヒューズホルダー

## 5-4. 機器の固定

### 5-4-1. タイマー取付金具の固定

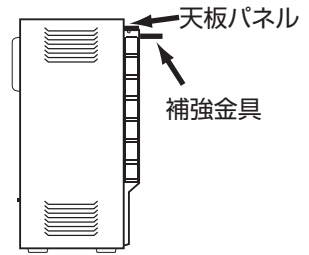
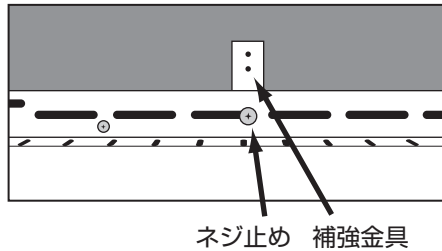
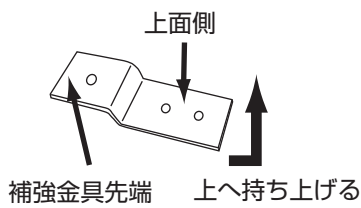
ETS-TMJ/Cは、タイマー取付金具がありません。

- ①タイマー取付金具のケーブル固定穴にインシュロックを通します。
- ②タイマー取付金具を、背面固定金具の右下に持っていきます。
- ③タイマー取付金具の固定用穴(矢印の位置)を、背面固定金具の前面側の長穴に合わせます。
- ④付属のタイマー取付金具固定用M5×8ネジ2本で、タイマー取付金具を背面固定金具に固定します。



## 5-4-2. 背面固定金具の設置

- ①右図の背面固定補強金具（以下、補強金具）先端を機器の背面上端に当ててから持ち上げます。
- ②補強金具を、下表の位置で背面固定補強金具用固定ネジM5×10ネジ1本と歯付座金1枚を使用して機器に固定します。

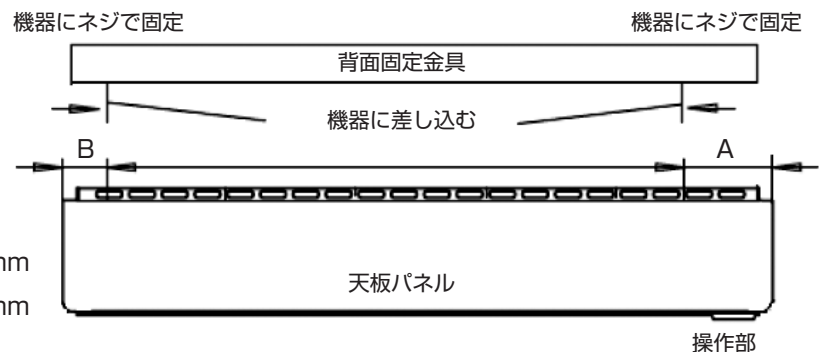


型名	補強金具数量	取付位置 背面固定金具の左端から	取付位置 (参考) 背面固定金具の右端から
ETS-200T 2kWタイプ	1	255	—
ETS-300T 3kWタイプ	1	345	—
ETS-400T 4kWタイプ	1	430	—
ETS-500T 5kWタイプ	1	540	—
ETS-600T 6kWタイプ	2	215	—
		1020	215
ETS-700T 7kWタイプ	3	210	—
		715	695
		1220	190

## 5-4-3. 機器の固定

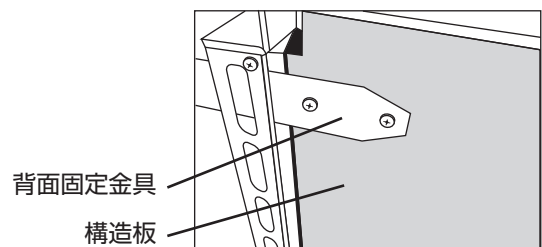
- ①機器を背面固定金具の突起に差し込みます。
- ②補強金具が背面固定金具の下に入るようにします。

A : 137.5mm  
B : 69.0mm

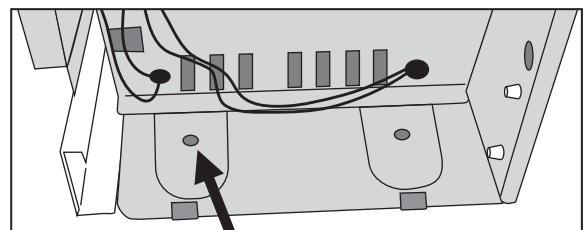
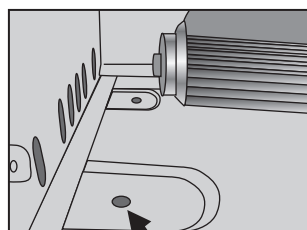
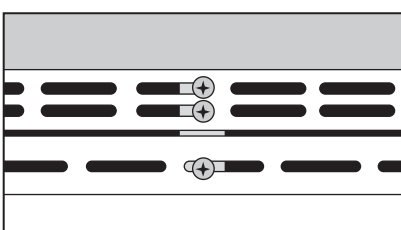


- ③背面固定金具を付属のM4×8固定ネジ4本（左右2本ずつ）で機器に固定します。

- ④補強金具を背面固定補強金具用固定ネジM5×10ネジ2本と歯付座金2枚で、背面固定金具に固定します。



- ⑤付属の床固定用ネジφ6×30、2本を使用して機器を床に固定（左右前面側1本ずつ）します。



## 5-5. 蓄熱体の組み込み

### 5-5-1. 蓄熱体の組み込み

①ファンに養生材を掛けます。

#### MEMO

○蓄熱体組み込みの際にその粉や小さい欠片がファンに落ちることがあります。それらは、ファン動作時の異音や、機器の変色の原因になります。

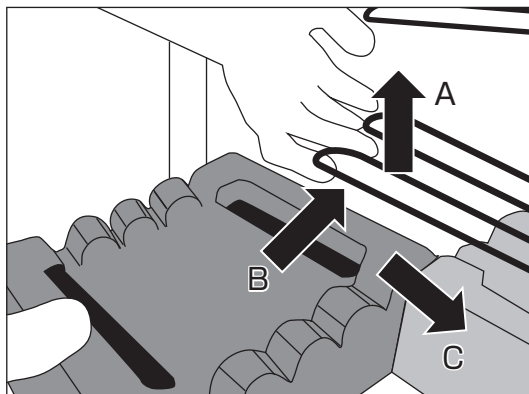
② 2個1組になっている蓄熱体の梱包を外し、割れや大きな欠けがないことを確認し、表面や溝のバリを削り、ハケで掃除しておきます。

#### MEMO

○ETS-200T 2kWタイプは、左側の断熱材を保護するよう、付属の対流板を3段目の蓄熱体を設置するまで左端に挟んでおきます。

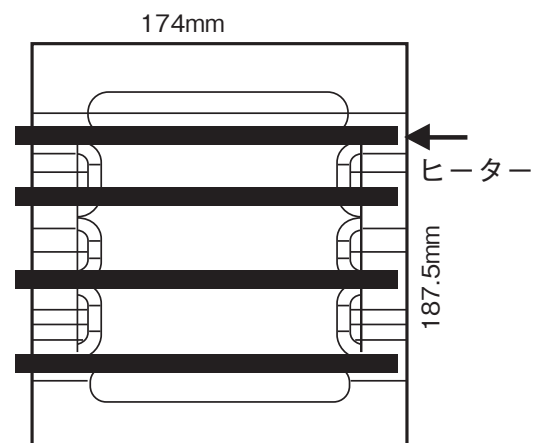
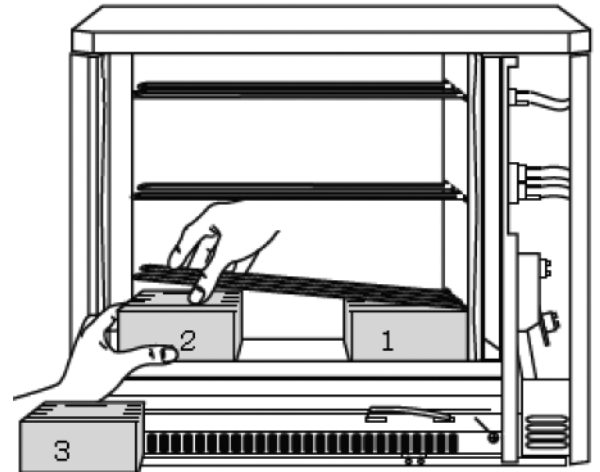
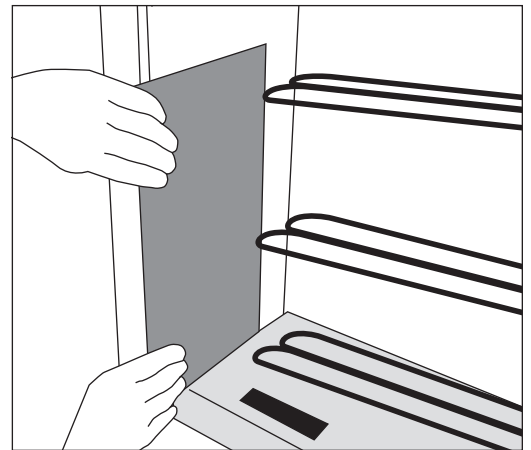
③下段の右端から順番に蓄熱体を組込みます。

④ヒーターが上に来る段は、ヒーターを「A」の方向に最小限に持ち上げた後、蓄熱体を「B」のように押し込み、「C」の方向にずらします。

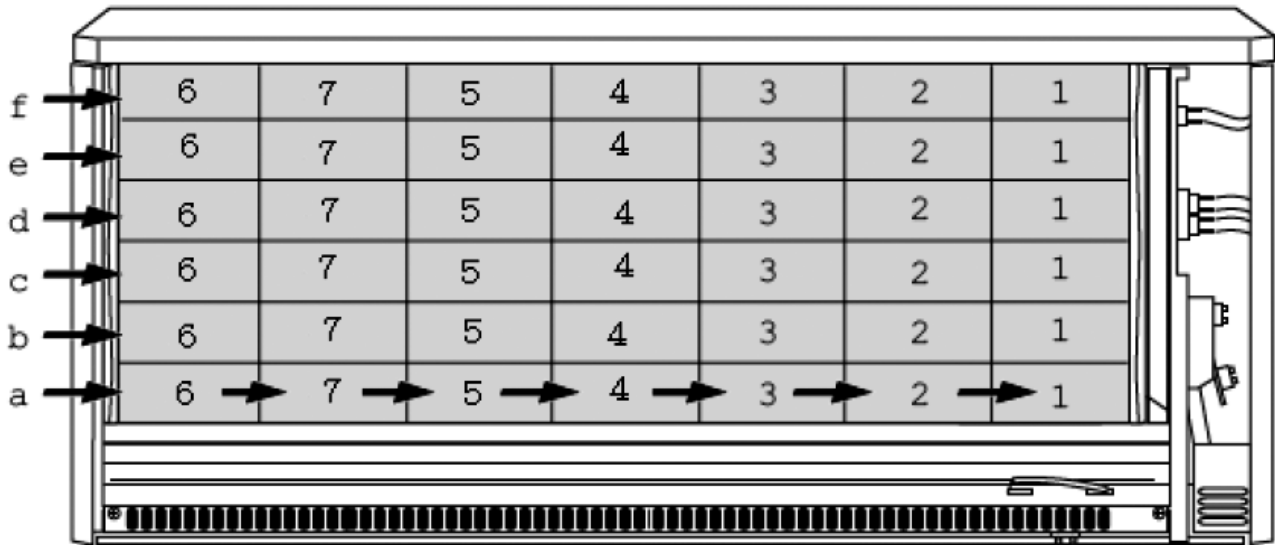


⑤蓄熱体は、全て凹凸面が上向きになるように組み込みます。

⑥ヒーターが、蓄熱体の溝に収まるようにします。



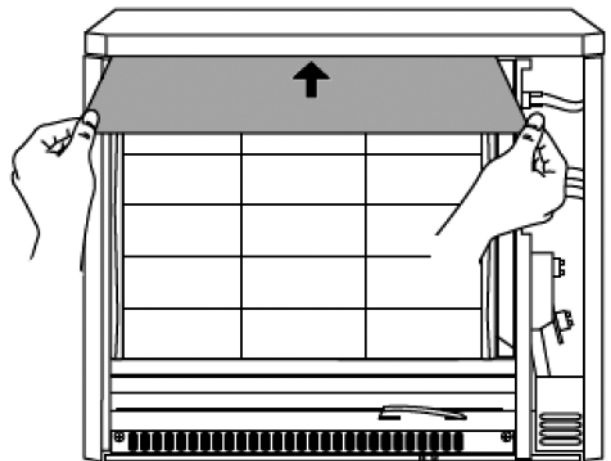
⑦左から2番目の蓄熱体を組み込む前に、左端の蓄熱体を組み込みます。



700TMJの場合

⑧最後に左から2番目の蓄熱体を組み込みます。

⑨全ての蓄熱体を組み込み後、付属の対流板を蓄熱体の上に差し込みます。



#### MEMO

○左右、前後で段差ができないようにします。段差があると異音や、ヒーター断線の原因になる場合があります。

⑩機器が床に対して水平に設置されていることを確認します。

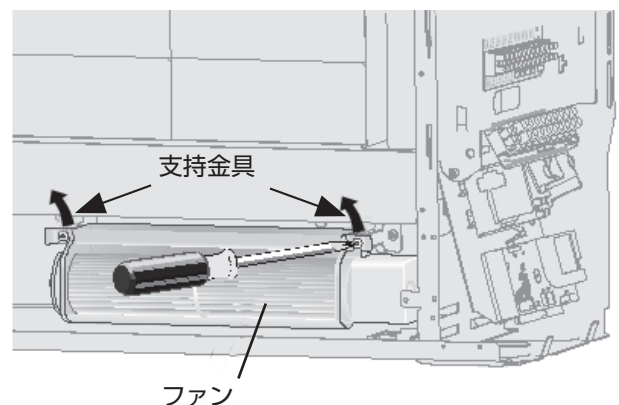
## 5-5-2. ファンの清掃

①ファンの上に載せた養生材を機器から出します。

②ファン両端の支持金具のM4×8のネジ2本をプラスドライバーで緩めて、ファンを外します。

③機器の底面、及びファンのケーシング内に入った蓄熱体の粉や欠片を取り除きます。

④ファンを元の位置に戻し、支持金具のM4×8のネジ2本をプラスドライバーで締めて、ファンを固定します。



#### MEMO

○ネジを締め付け過ぎるとファン動作時の異音の原因になる場合があります。

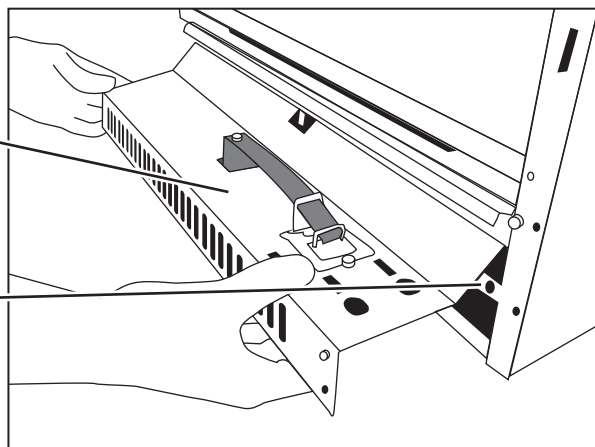


### 5-5-3. デバイドケースの固定

- ① デバイドケースの下段を、固定用ネジのネジ穴の突起に乗せます。

デバイスケース

固定用ネジ

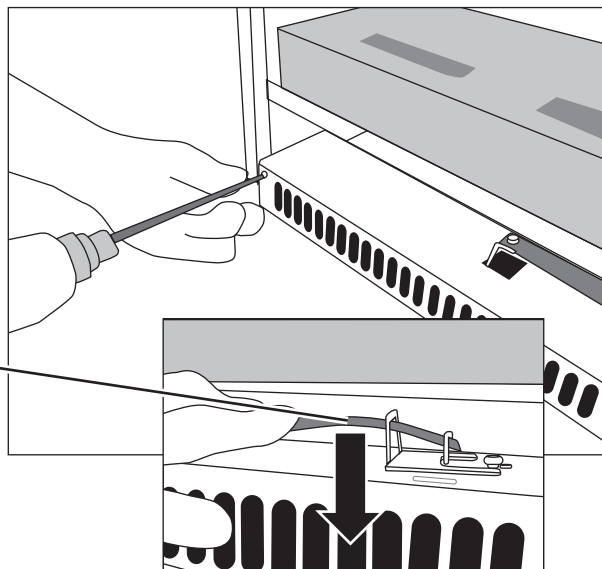


- ② バイメタルダンパーを下に押しながら、デバイスケースを奥まで入れます。

- ③ デバイドケースと機器の間でファンのハーネスを挟まないよう注意します。

- ④ デバイドケースの両端のM4×8のネジ2本をプラスドライバーで締めます。

バイメタルダンパー

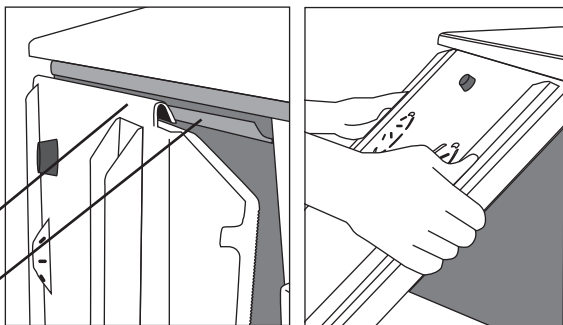


### 5-5-4. バッフル板の固定

- ① バッフル板上部の折り曲げ部分を構造体の折り曲げ部分に引掛けます。

バッフル板

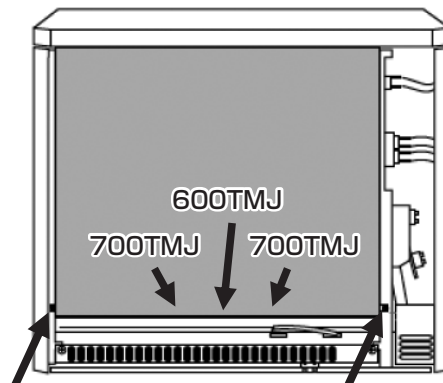
構造体



- ② バッフル板下部両端のM4×8のネジ2本をプラスドライバーで締めます。

#### MEMO

- ETS-600T 6kWタイプ、及びETS-700T 7kWタイプは、先に下部中央のφ4×35のネジそれぞれ1本、及び2本を先にプラスドライバーで締めます。



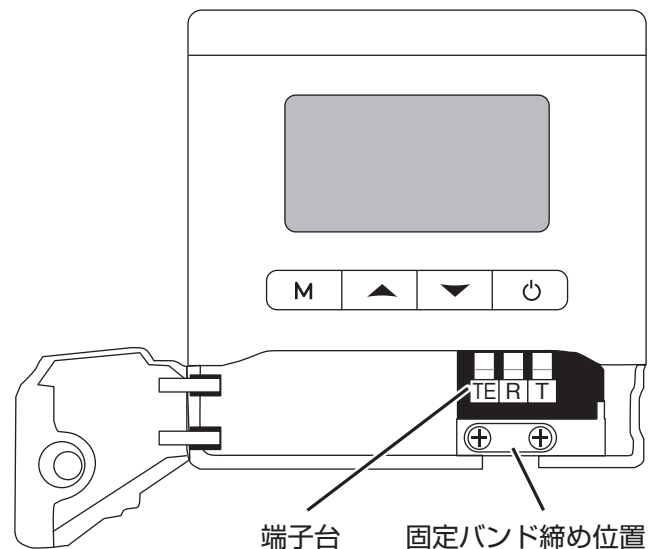
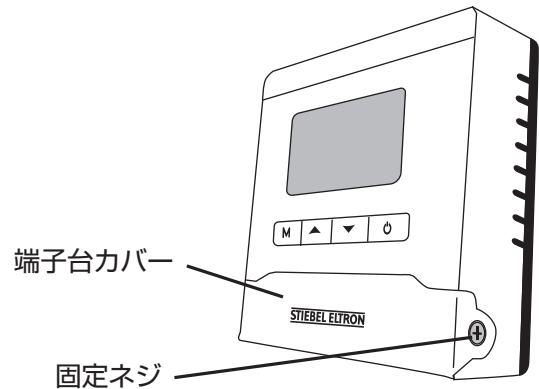
# 6. 機器外装部品の設置

## 6-1. タイマーの設置

ETS - TMJ/Cにはタイマーはありません。

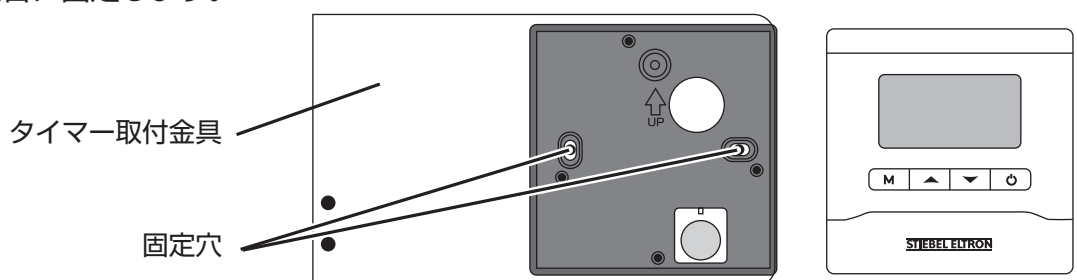
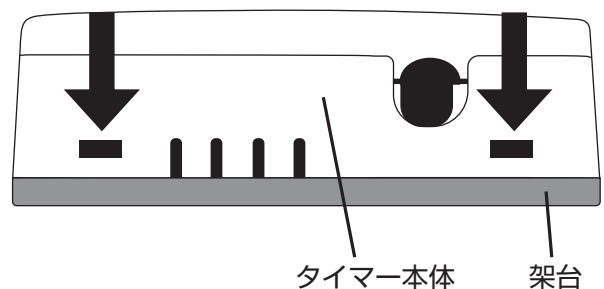
### 6-1-1. タイマーの配線接続

- ①タイマーの端子台カバーを固定しているφ2×5の固定ネジをプラスドライバーで外し、タイマー端子台カバーを開きます。
- ②電源ケーブル固定バンドのφ2×8のネジをプラスドライバーで外します。
- ③機器端子台「R4」に接続しているケーブルをタイマーの端子台「R」の上のボタンを押しながら差し込みます。
- ④機器端子台「T4」に接続しているケーブルをタイマーの端子台「T」の上のボタンを押しながら差し込みます。
- ⑤機器端子台「TE」に接続しているケーブルをタイマーの端子台「TE」の上のボタンを押しながら差し込みます。
- ⑥電源ケーブル固定バンドのφ2×8のネジをプラスドライバーで締めて、3心のケーブルを固定します。
- ⑦機器端子台「R4」、「T4」、「TE」からの三心のケーブルを、タイマー固定金具に付けたインシュロックで固定します。



### 6-1-2. タイマーの固定

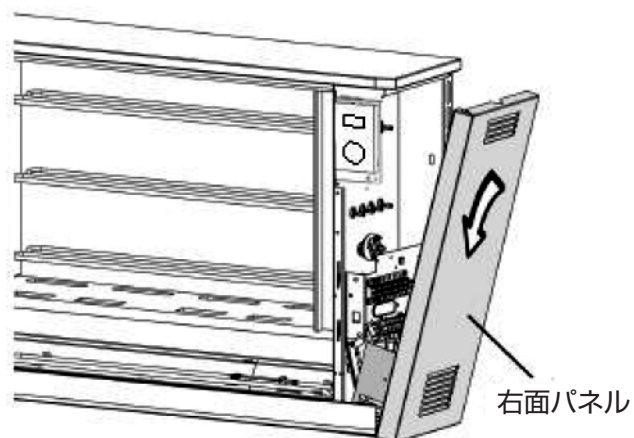
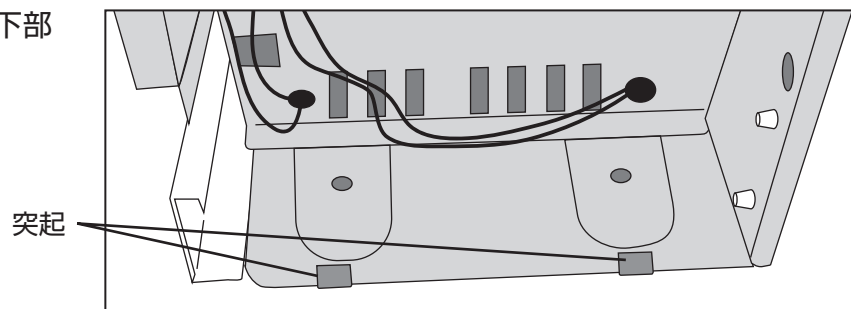
- ①タイマー下部の矢印の位置2ヶ所（右図）に刃先6mm以下のマイナスドライバーを差し込み、前面側に引き上げて、タイマー本体を架台から外します。
- ②架台は、タイマー取付金具の固定穴にM4×8ネジ2本をプラスドライバーで締めて固定します。
- ③タイマー本体は、上部を架台に引掛け、下部を前面側から押して、架台に固定します。



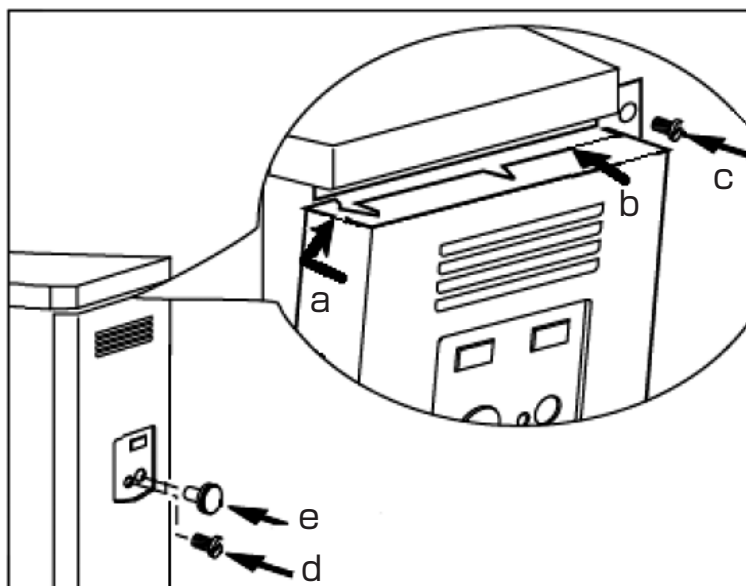
## 6-2. 外装パネルの固定

### 6-2-1. 右面パネル／左面パネル

- ①機器左右下部の2本の突起をパネル下部の穴に差し込みます。



- ②パネル前部 (a) を天板の突起に差し込みます。  
③パネル上部を天板パネルの下 (b) に差し込みます。  
④パネル背面側上部のM4×8のネジ (c) をプラスドライバーで締めます。



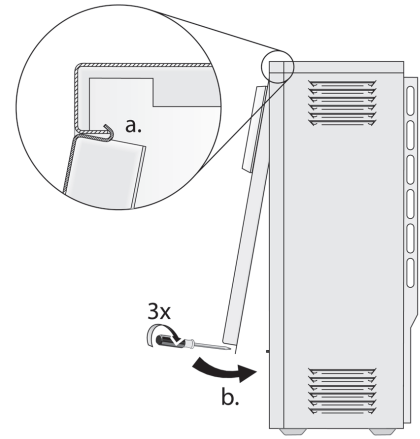
以下右面パネルのみ

- ⑤右面パネル蓄熱ダイヤル裏のM4×8のネジ (d) をプラスドライバーで締めます。  
⑥蓄熱ダイヤル (e) を、蓄熱コントローラの軸に差し込みます。

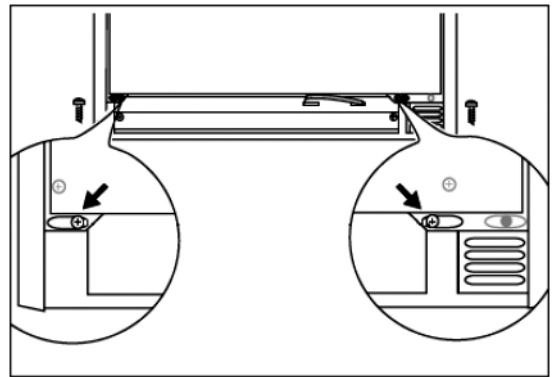
右面パネル

## 6-2-2. 前面パネル

- ①天板パネルの図「a」の部分に前面パネルを引掛けます。
- ②天板パネルを矢印「b」の方向に押します。



- ③前面パネル下部右側のM4×8のネジを、歯付座金を挟んでプラスドライバーで締めて固定します。
- ④前面パネル下部左側のM4×8のネジを、プラスドライバーで締めて固定します。

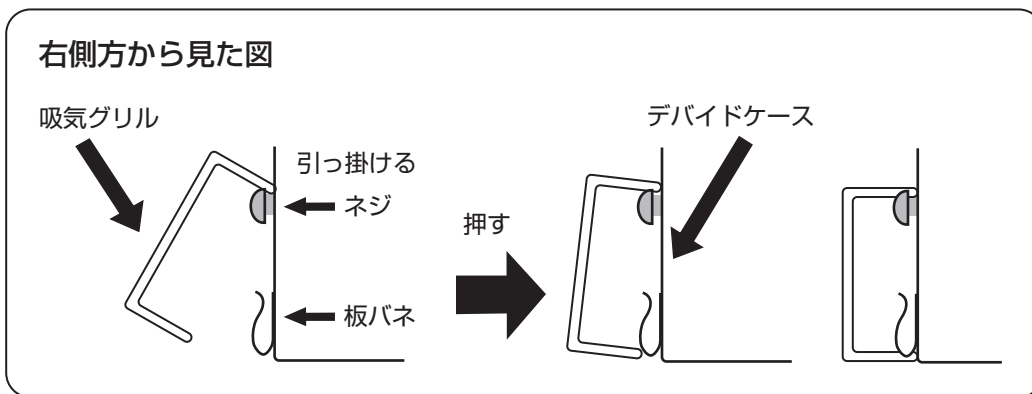


### MEMO

- 両端ともネジ穴が二つあるうちの、内側のネジ穴で前面パネルを固定します。
- 前面パネルと天板パネル、左面パネル、右面パネルとの間に大きい隙間が空く場合は、バッフル板がきちんと固定されていない可能性があります。バッフル板を一度設置しなおしてください。

## 6-2-3. 吸気グリルの固定

- ①デバインドケースを固定しているネジの上に、吸気グリルの上側の穴を引掛けます。
- ②吸気グリルの下部両端を機器下部両端の板バネに押し付けて固定します。

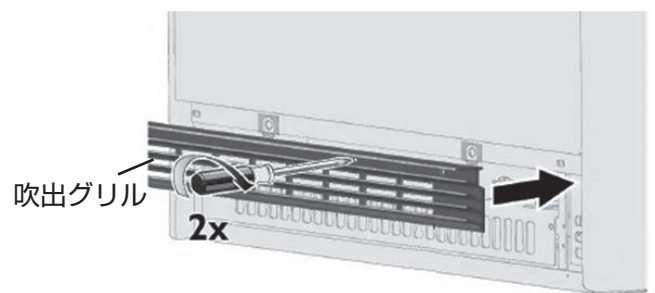


### MEMO

- オプションの吸気フィルターが同梱されている場合は、吸気グリルの内側にセットします。

## 6-2-4. 吹出グリルの固定

- ①吹出グリル付属のネジを、前面パネルの吹出グリル固定用ネジ穴に合わせます。
- ②吹出グリル固定ネジ2本をプラスドライバーで時計回りに半回転締めて固定します。



# 7. 試運転

## (1) 試運転

- ①機器の絶縁抵抗が1MΩ以上であることを確認します。
- ②機器の専用ブレーカの定格電流を確認(下表参照)の上、「入」(ON)にします。
- ③機器のタイマーを設定します。P. 4「3. タイマーの設定のしかた」参照
- ④タイマーを「常時ON」に設定します。P. 10「4-4. もう少しお部屋を暖めたい場合」参照
- ⑤蓄熱ダイヤルを「3」に設定して、約5分後に機器のヒーター回路の電流値が正常(下表参照)であることを確認します。

型名	機器定格電流値 許容値 ±10%	配線用遮断器 定格電流
ETS-200T 2kWタイプ	10.0A	15A
ETS-300T 3kWタイプ	15.0A	20A
ETS-400T 4kWタイプ	20.0A	30A
ETS-500T 5kWタイプ	25.0A	40A
ETS-600T 6kWタイプ	30.0A	40A
ETS-700T 7kWタイプ	35.0A	50A

- ⑥放熱ダイヤルを「3」に設定して、ファンスイッチ「I」を押し、ファンが正常に動作することを確認します。

### MEMO

- 室温が30℃以上の場合は、ファンが動作しないことがあります。機器背面右下についている室温センサーを冷やして動作確認をしてください。
- ETS-TMJ/Cは、単相200Vに通電するのみで、蓄熱を開始します。
- ⑦放熱ダイヤルを「●」に設定して、ファンスイッチ「○」を押し、ファンが停止することを確認します。
- ⑧蓄熱ダイヤルを「●」に設定して、5分経過後にヒーターの電流値が「0A」になることを確認します。

### MEMO

- 本機器は、サーマルリレーを使用しているため、制御側電源の入/切直後に電流が流れたり、止まったりはしません。
- ⑨タイマーを「スタンバイ」に設定します。P. 11「4-6. 暖房を止めたい場合」参照
- ⑩専用ブレーカを「切」(OFF)にします。

## (2) 検査記録

お客様名			
検査会社名			
検査者名			
検査日			
検査項目	検査結果	摘要	参照ページ
機器の絶縁抵抗		絶縁抵抗値を記載	————
ブレーカの定格電流値		ブレーカの定格電流値を記載	————
タイマーの時刻設定		チェックのみ	P. 5
タイマーの蓄熱開始時間設定		設定時間を記載	P. 6
タイマーの蓄熱終了時間設定		設定時間を記載	P. 6
ヒーターの電流値		電流値を記載	P. 35
ファンの動作		チェックのみ	P. 35
機器の離隔距離の確保		チェックのみ	P. 19
ジョイントボックスの位置		チェックのみ	P. 23
壁の補強		チェックのみ	P. 23
機器の壁固定		チェックのみ	P. 28
床の補強		チェックのみ	P. 23
機器の床固定		チェックのみ	P. 28
機器の水平		チェックのみ	P. 30
機器の外観		チェックのみ	————
備考			

# 保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記品番の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		様	型名	ETS-200TMJ/T/C		
	お名前				ETS-300TMJ/T/C		
お取扱い店	社名	印	取扱者		ETS-400TMJ/T/C		
	〒				印	ETS-500TMJ/T/C	
	住所					ETS-600TMJ/T/C	
電話( )		-			ETS-700TMJ/T/C		
お取付け日	年	月	日		製造番号	- -	
					保証期間	製品	お取付け日から1ヶ年

機器はお取付け日から1ヶ年保証です。

## ★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

### (無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル（株）にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
  - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
  - お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
  - 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
  - 一般の建物以外(例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
  - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
  - 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
  - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
  - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
  - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**STIEBEL ELTRON** 日本スティーベル株式会社

**TEL:044-540-3203**

平日 9:00~17:30 (土日祝日および特定休業日を除く)

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル8F

ホームページ <http://www.nihonstiebel.co.jp>

■製造者  
スティーベルエルトロン

所在地、電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。

商品コード  
272137-K40430  
00272137

T1151201  
20171208D